

藤田稔写真資料仮目録—旧大宮町出身の民俗学者・藤田稔の民俗研究（一）—

林 圭史

常陸大宮市鷹巣出身の藤田稔（一九二二—二〇一三）は、茨城の民俗文化を全県域的な視野から網羅的に語ることできた、最初の人物である。そして、質量の両面においてその業績に並び得る後進の研究の存在を、筆者は確認できていない。

藤田は、終戦後に進学した東京文理科大学で和歌森太郎（一九一五—一九七七）に民俗学を学んだ。和歌森は、歴史学者・民俗学者で、戦後初めてとなる社会科の日本史教科書の編纂に関わった研究者として知られる人物である。その後、藤田は茨城県の高校教員として教壇に立つ傍ら、自らが設立に携わった茨城民俗学会（昭和三八年発足）を主な活動母体として県内各地の民俗調査を行った。その過程で撮影された約二万点におよぶ写真フィルムは、現在、茨城県立歴史館に寄託されている^(一)。その一部は、平成二八年度テーマ展Ⅱ「茨城の民俗学者・藤田稔の見た世界」において公開されたばかりである。そこでは、同時代を生きた民俗学者の視点で切り取った一枚一枚の写真が、生活文化の移ろいを見出すうえで有効な資料となることが提示された。さらに、来館者の反応を通して、昭和三〇年代以降という、感覚的にはそう遠くはない過去の資料が、異なる世代間の会話を生み出す契機にもなり得ることが確認された。

以上の写真資料を含む彼の民俗研究の手法や特長を、同時代における民俗学の動向との関連において検討するところに筆者の主な関心はあるが、小稿においては、その手始めとして、彼が遺した写真資料のあらましを紹介する。紙幅の都合上、撮影時期の情報がより細かく分かり、且

つ、現在の常陸大宮市域に関係する写真を優先し、また、同一の行事を撮影したと判別できる複数のコマがある場合は、ひとつとして掲載している。極めて限られた範囲になってしまいが、これを一応の基礎データとし、考察はあらためて別稿を設けて行うこととしたい。

なお、藤田稔が撮影した写真については、詳細な研究が既に存在する。とりわけ常陸大宮市歴史民俗資料館で平成一七年（二〇〇五）に開催された展示会「民俗学者 藤田稔の視点 Part Ⅱ むら・ひと・くらし」とその展示図録では、藤田稔写真の内容分析と解説がなされている。拙稿もその成果に大いに拠っていることをまず明記しておくとともに、今回の仮目録掲載にあたり、その成果を利用することを快諾して下さった石井聖子氏（常陸大宮市歴史民俗資料館Ⅱ当時）に、紙面を借りて深謝申し上げる次第である。

註

(一) 現在、茨城県立歴史館で保管する約二万点の藤田稔写真資料は、段ボールで二八箱に収納されており、そのうち、情報の正確性がある程度確認できたもの約二五〇〇点について仮目録の作成が完了している。資料の総点数からすれば未だ漸く緒に就いたばかりと言わねばならないが、市史編さん事業においても、当該資料のもつ可能性について検討することを継続的な課題と位置づけて取り組んでいきたい。

（民俗部会専門調査員・茨城県立歴史館副主任学芸員）



写真1 物置きの前で遊ぶ子供たち
(ふたつの荷車)(表中No.5)



写真2 民家とはね釣瓶(表中No.22)



写真3 嫁入りの儀礼(表中No.49)



写真4 葉タバコの連干し(表中No.161)



写真5 タテマエ(上棟式)(表中No.331)



写真6 六字様(表中No.502)

写真1 昭和30年撮影／大宮町
写真3 昭和39年撮影／大宮町
写真5 昭和43年撮影／大宮町

写真2 昭和30年撮影／大宮町
写真4 昭和40年撮影／美和村
写真6 昭和46年撮影／緒川村

(茨城県立歴史館寄託資料)

表 藤田稔写真資料仮目録

	内容	撮影年月日	形態	撮影地等情報
1	草屋根のお堂	昭和29	6×6モノクロ	常陸太田市
2	赤子を背負う女性	昭和29	6×6モノクロ	常陸太田市
3	堆肥小屋の柵に腰掛ける母と子	昭和30. 1	6×6モノクロ	大宮町
4	少女を背負うもんべ姿の女性	昭和30. 1	6×6モノクロ	大宮町
5	物置の前で遊ぶ子供たち（ふたつの荷車）	昭和30. 1	6×6モノクロ	大宮町
6	草葺きの曲家	昭和30. 1	6×6モノクロ	大宮町
7	田畑風景	昭和30. 1	6×6モノクロ	大宮町
8	晴れ着の少女とその家族	昭和30. 1	6×6モノクロ	大宮町
9	老夫婦	昭和30. 1	6×6モノクロ	大宮町
10	西金砂小祭り	昭和30. 3. 24	6×6モノクロ	常陸太田市
11	庭に干された洗濯物と、ボール遊びをする女の子	昭和30. 3	6×6モノクロ	常陸太田市
12	草葺きの民家	昭和30. 3	6×6モノクロ	常陸太田市
13	門口に掛けられた杓文字	昭和30. 3	6×6モノクロ	常陸太田市
14	木登りして遊ぶ子供たち	昭和30. 4. 29	6×6モノクロ	常陸太田市
15	赤ちゃんを背負う少女	昭和30. 4. 29	6×6モノクロ	常陸太田市
16	恵比寿	昭和30. 5. 3	6×6モノクロ	八郷町
17	神楽面	昭和30. 5. 3	6×6モノクロ	八郷町
18	幣之舞（舞台全景）	昭和30. 5. 3	6×6モノクロ	八郷町
19	鞠つきをして遊ぶ少女たち（菖蒲の鉢巻を付けている）	昭和30. 6	6×6モノクロ	常陸太田市
20	菖蒲の鉢巻を巻いている赤ちゃん	昭和30. 6	6×6モノクロ	常陸太田市
21	太田市街地の七夕飾り	昭和30. 8. 26	6×6モノクロ	常陸太田市
22	民家とはね釣瓶	昭和30. 9	6×6モノクロ	大宮町
23	少年と、樹上に置かれた鳥籠	昭和30. 9	6×6モノクロ	大宮町
24	ままごとをする女の子	昭和30. 10	6×6モノクロ	常陸太田市
25	細長く続く潜水橋（沈下橋）	昭和30. 10	6×6モノクロ	常陸太田市
26	古墳	昭和30. 12. 18	6×6モノクロ	常陸太田市
27	正宗寺周辺	昭和30	6×6モノクロ	常陸太田市
28	正宗寺庫裏	昭和30	6×6モノクロ	常陸太田市
29	西金砂小祭り	昭和30	6×6モノクロ	常陸太田市
30	畑に積み上げられた藁	昭和31. 1	6×6モノクロ	常陸太田市（梵天山古墳）
31	ワラホウデン	昭和31. 1	6×6モノクロ	常陸太田市（瑞龍古墳）
32	父と姉弟	昭和32. 1. 13	6×6モノクロ	常陸太田市
33	麻の葉模様の服	昭和32. 1. 13	6×6モノクロ	常陸太田市
34	ヘチマ棚と着物姿の男性	昭和33. 8	6×6モノクロ	大宮町
35	七五三の女の子	昭和34. 6. 13	6×6モノクロ	水戸市
36	フラフープをして遊ぶ少年	昭和35	6×6モノクロ	水戸市
37	墓地の五輪塔	昭和37	6×6モノクロ	石岡
38	筑波山名所せきれい石	昭和38. 6～8	6×6モノクロ	筑波町
39	筑波山中	昭和38. 6～8	6×6モノクロ	筑波町
40	板倉（郷校の建物か）	昭和38. 8	6×6モノクロ	大子町
41	潮来の水路と船	昭和38. 7	6×6モノクロ	潮来町
42	草屋根の直屋、盆習俗ほか	昭和38. 8	6×6モノクロ	牛久町
43	牛久沼	昭和38. 8	6×6モノクロ	牛久町
44	大津港	昭和38. 8	6×6モノクロ	北茨城市
45	目籠と竹竿	昭和39. 2	6×6モノクロ	水戸市
46	ニンニク豆腐	昭和39. 2	6×6モノクロ	水戸市
47	えりかけ餅	昭和39. 2	6×6モノクロ	水戸市
48	庭に立てた竹竿と目籠	昭和39. 2	6×6モノクロ	水戸市
49	嫁入りの儀礼	昭和39. 3	6×6モノクロ	大宮町
50	紙漉き	昭和39. 3	6×6モノクロ	山方町
51	楮を水にさらす	昭和39. 3	6×6モノクロ	山方町
52	野良着の女性	昭和39. 3	6×6モノクロ	牛久町
53	鋤簾・馬鍬状の道具	昭和39. 3	6×6モノクロ	牛久町
54	千歯抜き・田下駄	昭和39. 3	6×6モノクロ	牛久町
55	大津の御船祭ほか	昭和39. 5	6×6モノクロ	北茨城市
56	加波山神社茅の輪くぐり（先頭の宮司ブレ）	昭和39. 6. 28	6×6モノクロ	真壁町
57	祭礼食	昭和39. 6. 28	6×6モノクロ	真壁町
58	盆の高灯籠（藁と杉葉の飾り）	昭和39. 8. 6～7	6×6モノクロ	霞ヶ浦周辺
59	盆棚	昭和39. 8. 6～7	6×6モノクロ	霞ヶ浦周辺
60	延縄の準備をする老人	昭和39. 8. 6～7	6×6モノクロ	霞ヶ浦周辺
61	七夕馬	昭和39. 8. 6～7	6×6モノクロ	霞ヶ浦周辺
62	民家の神棚	昭和39. 8. 6～7	6×6モノクロ	霞ヶ浦周辺
63	道切り	昭和39. 8. 6～7	6×6モノクロ	霞ヶ浦周辺
64	高灯籠	昭和39. 8	6×6モノクロ	岩間町
65	盆棚と供物	昭和39. 8	6×6モノクロ	岩間町
66	燈籠念仏の行列	昭和39. 8	6×6モノクロ	岩間町
67	燈籠念仏	昭和39. 8	6×6モノクロ	岩間町
68	棒術	昭和39. 8	6×6モノクロ	水戸市
69	敷物の筵に植物を干す	昭和39. 8. 6～7	6×6モノクロ	霞ヶ浦周辺
70	タガラを背負うもんべ姿の婦人	昭和39. 8. 6～7	6×6モノクロ	霞ヶ浦周辺
71	如意輪観音石仏群（「南無阿弥陀仏」の札）	昭和39. 8. 6～7	6×6モノクロ	霞ヶ浦周辺
72	高灯籠	昭和39. 8. 13～15	6×6モノクロ	岩間町
73	盆棚	昭和39. 8. 13～15	6×6モノクロ	岩間町
74	盆棚と子供たち 墓地にて	昭和39. 8. 13～15	6×6モノクロ	岩間町

	内容	撮影年月日	形態	撮影地等情報
75	盆棚	昭和39. 8. 13~15	6×6モノクロ	岩間町
76	注連縄の張られた水源地と不動明王石仏	昭和39. 8. 17	6×6モノクロ	水戸市
77	草屋根の曲屋 (お盆の民家)	昭和39. 8. 17	6×6モノクロ	水戸市
78	道祖神石祠を竹の棒で打つ子供たち	昭和39. 9. 13	6×6モノクロ	碓崎町
79	石塔を竹の棒で打つ子供たち	昭和39. 9. 13	6×6モノクロ	碓崎町
80	道祖神石祠	昭和39. 9. 13	6×6モノクロ	碓崎町
81	地藏石仏を竹の棒で打つ子供たち (ガラガラセンド)	昭和39. 9. 13	6×6モノクロ	碓崎町
82	民家で休憩する子供たち (ガラガラセンド)	昭和39. 9. 13	6×6モノクロ	碓崎町
83	石塔に注連縄を張り竹筒を供える	昭和39. 9. 13	6×6モノクロ	碓崎町
84	オカマサマのしめ縄・火難除けの御札・自在鉤	昭和39. 9	6×6モノクロ	県南地域
85	盆綱 (お堂と墓地)	昭和39. 9	6×6モノクロ	県南地域
86	船を利用したオダ掛け作業	昭和39. 9	6×6モノクロ	県南地域
87	甲子塔と辻札	昭和39. 9	6×6モノクロ	県南地域
88	吉田神社	昭和39. 11. 23	6×6モノクロ	水戸市
89	地藏観音石仏と二股大根	昭和39. 12. 28, 40. 1. 4	6×6モノクロ	水戸市
90	張り板に並んだ供え餅	昭和39. 12. 28, 40. 1. 4	6×6モノクロ	水戸市
91	ワラホーデン	昭和39. 12. 28, 40. 1. 4	6×6モノクロ	水戸市
92	神社境内に積み上げられた縁起物	昭和39. 12. 28, 40. 1. 4	6×6モノクロ	水戸市
93	年始の集まり	昭和39. 12. 28, 40. 1. 4	6×6モノクロ	水戸市
94	神棚の供物と注連縄	昭和39. 12. 28, 40. 1. 4	6×6モノクロ	水戸市
95	巻き簾を使った調理	昭和39. 12	6×6モノクロ	水戸市
96	籠にある注連縄飾り	昭和39. 12	6×6モノクロ	水戸市
97	行事食	昭和39. 12	6×6モノクロ	水戸市
98	頭屋渡しの飾り	昭和39. 12	6×6モノクロ	水戸市
99	椀を手に酒をいただく人々	昭和39. 12	6×6モノクロ	水戸市
100	筒粥の占いの結果 (筒の中に入った粥の状態)	昭和39	6×6モノクロ	大宮町
101	三匹獅子舞の頭	昭和40. 12. 26~28	6×6モノクロ	鹿島町
102	小屋内に安置されたお拵	昭和40. 3. 28, 30	6×6モノクロ	大子町
103	お拵小屋内部	昭和40. 3. 28, 30	6×6モノクロ	大子町
104	お拵小屋と人物	昭和40. 3. 28, 30	6×6モノクロ	大子町
105	タバコの乾燥場 (幹干し)	昭和40. 8. 13	6×6モノクロ	美和村
106	農家の軒先に積み上げられた農具など	昭和40. 8. 13	6×6モノクロ	美和村
107	葉タバコの乾燥作業	昭和40. 8. 13	6×6モノクロ	美和村
108	盆綱	昭和40. 8. 13	6×6モノクロ	小川町
109	田の神石塔	昭和40. 8. 3~5	6×6モノクロ	美和村
110	道祖神石塔	昭和40. 8. 3~5	6×6モノクロ	美和村
111	天満宮霊座石	昭和40. 8. 3~	6×6モノクロ	那珂湊市
112	大きな長屋門を持つ草屋根の民家 (直屋)	昭和40. 1. 15	6×6モノクロ	里美村
113	お正月さまの棚と両袖に飾ったハナモチ	昭和40. 1. 15	6×6モノクロ	里美村
114	神棚とハナモチ (高山神社のお札)	昭和40. 1. 15	6×6モノクロ	里美村
115	石?製陽物と小祠	昭和40. 1. 15	6×6モノクロ	里美村
116	高所から見た山間の集落と田畑	昭和40. 1. 15	6×6モノクロ	里美村
117	カンの木とミズ木のマユダマ	昭和40. 1. 15	6×6モノクロ	里美村
118	大根むき花作り	昭和40. 1. 17	35ミリモノクロ	水戸市
119	大根むき花作り	昭和40. 1. 17	35ミリモノクロ	水戸市
120	松を飾った神棚	昭和40. 1. 18	6×6モノクロ	大宮町
121	天照皇大神・豊受大神の掛軸と鏡餅	昭和40. 1. 18	6×6モノクロ	大宮町
122	鳥追い	昭和40. 1. 18	6×6モノクロ	里美村
123	僧侶と葬式参列者	昭和40. 2	6×6モノクロ	大宮町
124	葬式	昭和40. 2	6×6モノクロ	大宮町
125	墓地での埋葬	昭和40. 2	6×6モノクロ	大宮町
126	四十九の餅	昭和40. 2	6×6モノクロ	大宮町
127	清めの酒と塩	昭和40. 2	6×6モノクロ	大宮町
128	縁側で休息する人々	昭和40. 2	6×6モノクロ	大宮町
129	道沿いに立つ石塔	昭和40. 3. 24~25	6×6モノクロ	霞ヶ浦周辺
130	ワラホーデン	昭和40. 3. 24~25	6×6モノクロ	霞ヶ浦周辺
131	草屋根の葺き替え	昭和40. 3. 24~25	6×6モノクロ	霞ヶ浦周辺
132	延生の地藏尊石仏	昭和40. 3. 24~25	6×6モノクロ	霞ヶ浦周辺
133	石塔	昭和40. 3. 24~25	6×6モノクロ	霞ヶ浦周辺
134	近津神社の御筒粥神事占い	昭和40. 3. 24~25	6×6モノクロ	大子町
135	柱に貼られた札 (「十二月十二日」)	昭和40. 3. 24~25	6×6モノクロ	桜川村
136	大師参り講に集う人々	昭和40. 3. 24~25	6×6モノクロ	桜川村
137	厨子を背負う男性 (アンバ信仰)	昭和40. 3. 24~25	6×6モノクロ	桜川村
138	拝殿内の奉納額	昭和40. 3. 24~25	6×6モノクロ	桜川村
139	大人形と人物	昭和40. 4. 3	6×6モノクロ	石岡市
140	草鞋が下げられた樹木	昭和40. 4. 3	6×6モノクロ	石岡市
141	大人形	昭和40. 4. 3	6×6モノクロ	石岡市
142	金清さまの石塔と石祠・陽石	昭和40. 4. 3	6×6モノクロ	石岡市
143	谷津田での農作業	昭和40. 4. 3	6×6モノクロ	石岡市
144	種まきを終えた苗代と鳥除け	昭和40. 4. 25	6×6モノクロ	常陸太田市
145	堂内の道祖神文字塔・陽石	昭和40. 5. 6	6×6モノクロ	那珂町
146	釣りをする子供たち	昭和40. 5. 6	6×6モノクロ	水戸市
147	鹿島神社鳥居と注連縄	昭和40. 6. 13	6×6モノクロ	谷田部町
148	石塔	昭和40. 6. 13	6×6モノクロ	谷田部町
149	小祠 (多数の木彫りの陽物)	昭和40. 6. 13	6×6モノクロ	谷田部町

	内容	撮影年月日	形態	撮影地等情報
150	小祠	昭和40.6.13	6×6モノクロ	谷田部町
151	青面金剛石仏	昭和40.6.13	6×6モノクロ	谷田部町
152	わら草履・脚半・手拭が多数供えられた石塔と小祠	昭和40.6.13	6×6モノクロ	谷田部町
153	鹿島神社	昭和40.7.31	6×6モノクロ	鹿嶋市
154	酒沼のあんば祭り	昭和40.7.31	6×6モノクロ	茨城町
155	大杉神社拜殿	昭和40.8.1	6×6モノクロ	茨城町
156	那珂湊八潮祭(棒ささら)	昭和40.8.1	6×6モノクロ	那珂湊市
157	棒ささら	昭和40.8.1	6×6モノクロ	那珂湊市
158	民家の台所	昭和40.8.3	6×6モノクロ	美和村
159	民家の囲炉裏	昭和40.8.3	6×6モノクロ	美和村
160	石塔(「御鳥居マデ十四町 是より神領」)	昭和40.8.3	6×6モノクロ	美和村
161	葉タバコの連干し	昭和40.8.3	6×6モノクロ	美和村
162	葉タバコの連干し	昭和40.8.3	6×6モノクロ	美和村
163	盆綱	昭和40.8.13	6×6モノクロ	小川町・茨城町
164	境内社と小祠	昭和40.8.14~16	6×6モノクロ	大宮町
165	盆棚	昭和40.8.14~16	6×6モノクロ	北浦村
166	盆棚の供物	昭和40.8.14~16	6×6モノクロ	北浦村
167	盆船を墓蔭に包んで運ぶ	昭和40.8.14~16	6×6モノクロ	北浦村
168	盆船を墓蔭に流す	昭和40.8.14~16	6×6モノクロ	北浦村
169	盆船を流す	昭和40.8.14~16	6×6モノクロ	北浦村
170	水上を流れて行く盆船	昭和40.8.14~16	6×6モノクロ	北浦村
171	墓地	昭和40.8.16	6×6モノクロ	北浦村
172	埋め墓	昭和40.8.16	6×6モノクロ	北浦村
173	盆の飾り物	昭和40.8.16	6×6モノクロ	北浦村
174	湖に流れて行く盆船	昭和40.8.16	6×6モノクロ	北浦村
175	岸に置かれた盆船	昭和40.8.16	6×6モノクロ	北浦村
176	送り出された盆の供物	昭和40.8.16	6×6モノクロ	北浦村
177	搦いた餅を丸める	昭和40.9.25	6×6モノクロ	水戸市
178	ワラデッポウで地面を打つ少年たち	昭和40.9.25	6×6モノクロ	水戸市
179	使用中の蒸籠	昭和40.9.25	6×6モノクロ	水戸市
180	餅を箕に入れ頭に載せて十八夜の月に供える	昭和40.10.5	6×6モノクロ	水戸市
181	重箱を持つ少女	昭和40.10.5	6×6モノクロ	水戸市
182	亥の子	昭和40.10.23	6×6モノクロ	潮来町
183	水戸三夜尊(桂岸寺)山門	昭和40.10.23	6×6モノクロ	水戸市
184	水路に浮ぶ船	昭和40.10.23	6×6モノクロ	水戸市
185	収穫の終わった田の圃に作られたワラホーデン	昭和40.10.23	6×6モノクロ	水戸市
186	亥の子	昭和40.10.23	6×6モノクロ	水戸市
187	民家屋内に吊り下げられた飾り	昭和40.10.23	6×6モノクロ	潮来町
188	鶴居上に貼られた多数の御札(「鹿嶋大神宮太玉串」)	昭和40.10.23	6×6モノクロ	潮来町
189	御酒盛	昭和40.10.23	6×6モノクロ	鹿島町
190	弥勒踊り	昭和40.10.23	6×6モノクロ	鹿島町
191	有賀様の巡幸	昭和40.11.3	6×6モノクロ	水戸市
192	御座替り	昭和40.11.23	6×6モノクロ	筑波町
193	屋根の葺き替え	昭和40.11.23	6×6モノクロ	筑波町
194	曲りのついた草屋根の民家	昭和40.12.26~28	6×6モノクロ	神栖町
195	神社の格子に括られた多数のワラツト	昭和40.12.26~28	6×6モノクロ	神栖町
196	明治24年奉納の絵馬(地曳綱)	昭和40.12.26~28	6×6モノクロ	神栖町
197	田の神おろし	昭和41.1.15	6×6モノクロ	大宮町
198	サインカミのケズリカケ	昭和41.1	6×6モノクロ	大野村
199	祠の参道に立てられた笹の飾り	昭和41.1	35ミリハーフカラーボジ	大野村
200	藤田氏の母	昭和41.1	35ミリハーフカラーボジ	大宮町
201	谷津田と松林	昭和41.1	35ミリハーフカラーボジ	大野村
202	大根むき花作り	昭和41.2.17	35ミリハーフ	水戸市
203	笹神さま・目籠	昭和41.2	35ミリハーフカラーボジ	協和町
204	草葺きの建物	昭和41.2	35ミリハーフカラーボジ	協和町
205	出世稲荷社と参詣者	昭和41.2	35ミリハーフカラーボジ	笠間市
206	笠間稲荷	昭和41.2	35ミリハーフカラーボジ	笠間市
207	鹿島神宮の木札を結んだ破魔矢	昭和41.3.6	35ミリハーフカラーボジ	神栖町
208	神の池	昭和41.3.6	35ミリハーフカラーボジ	神栖町
209	渡船の待合所近くの鳥居	昭和41.3.7	35ミリハーフカラーボジ	神栖町
210	鹿島神宮祭頭祭	昭和41.3.9	35ミリハーフカラーボジ	鹿島町
211	瓦葺きの民家・目籠立て	昭和41.3.9	6×6モノクロ	協和町
212	草葺きの民家・目籠立て	昭和41.3.9	6×6モノクロ	協和町
213	スミツカリの入ったワラツト	昭和41.3.9	6×6モノクロ	協和町
214	社殿内の神輿	昭和41.3.9	6×6モノクロ	協和町
215	「昭和41年度大師尊巡拝表」	昭和41.3.11	6×6モノクロ	笠間市
216	寺院で手を合わせる人々	昭和41.3.11	6×6モノクロ	笠間市
217	鹿島神宮祭頭祭(囃子)	昭和41.3.11	6×6モノクロ	鹿島町
218	鹿島神宮祭頭祭	昭和41.3.11	6×6モノクロ	鹿島町
219	念仏を唱える女性たち	昭和41.3.15~26	6×6モノクロ	水戸市
220	オディハンニャ	昭和41.4	6×6モノクロ	水戸市
221	オディハンニャ	昭和41.4	6×6モノクロ	水戸市
222	金村別雷神社の市	昭和41.4(旧3.15)	35ミリカラーボジ	豊里町
223	日立風流物	昭和41.5.3	6×6モノクロ	日立市
224	誕生釈迦仏の厨子と飾り	昭和41.5	35ミリハーフカラーボジ	水戸市

	内容	撮影年月日	形態	撮影地等情報
225	草葺きの直屋	昭和41.5	35ミリハーフカラーボジ	大宮町
226	卵塔・ウレツキ塔婆・草葺きの直屋	昭和41.5	35ミリハーフカラーボジ	大宮町
227	長者屋敷跡	昭和41.5	35ミリハーフカラーボジ	水戸市
228	観音の掛軸の前に集う女性たち	昭和41.5	35ミリハーフカラーボジ	水戸市
229	オディハンニャ	昭和41.5	35ミリハーフカラーボジ	水戸市
230	観音の掛軸の前に集う女性たち	昭和41.5	35ミリハーフカラーボジ	水戸市
231	上に石祠のある塚	昭和41.5	35ミリハーフカラーボジ	水戸市
232	樹木の根本にあるワラホーデン	昭和41.5	35ミリハーフカラーボジ	水戸市
233	日立風流物	昭和41.5	35ミリハーフカラーボジ	日立市
234	墓参り	昭和41.5	35ミリハーフカラーボジ	大宮町
235	自宅での宴席	昭和41.5	35ミリハーフカラーボジ	大宮町
236	鷹巢の風景	昭和41.5	35ミリハーフカラーボジ	大宮町
237	薬師堂	昭和41.5	35ミリハーフカラーボジ	大宮町
238	日立風流物	昭和41.6.14	6×6モノクロ	日立市
239	御札の版木	昭和41.8	6×6モノクロ	水戸市
240	ワラホーデン	昭和41.8	6×6モノクロ	水戸市
241	石祠	昭和41.8	6×6モノクロ	水戸市
242	二十三夜塔・庚申塔・馬力神	昭和41.8	6×6モノクロ	水戸市
243	草屋根の葺き替え	昭和41.8	6×6モノクロ	水戸市
244	兜屋根の付いた曲屋	昭和41.8	6×6モノクロ	水戸市
245	大串貝塚	昭和41.8	35ミリハーフカラーボジ	常澄村
246	鹿島神宮御船祭	昭和41.9.2	6×6モノクロ	鹿島町
247	農具類と牛	昭和41.9.10	6×6モノクロ	水戸市
248	牛の飼育	昭和41.9.10	6×6モノクロ	水戸市
249	兜屋根の民家	昭和41.9.10	6×6モノクロ	水戸市
250	総社宮祭礼	昭和41.9.23	35ミリハーフ	石岡市
251	西蓮寺常行三昧会	昭和41.9.30	35ミリハーフカラーボジ	玉造町
252	帆曳き船	昭和41.9	35ミリハーフカラーボジ	麻生町
253	畑の中の石祠	昭和41.9	35ミリハーフカラーボジ	水戸市
254	水田の中の神社・オダ掛け作業	昭和41.9	35ミリハーフカラーボジ	水戸市
255	小祠	昭和41.9	35ミリハーフカラーボジ	麻生町
256	鹿島神宮御船祭	昭和41.9	35ミリハーフカラーボジ	鹿島町
257	石祠	昭和41.10.3	6×6モノクロ	水戸市周辺
258	水田の中に立つ神社	昭和41.10.5	6×6モノクロ	玉造町
259	西蓮寺常行三昧会	昭和41.10.5	6×6モノクロ	玉造町
260	草葺きの曲屋	昭和41.10	35ミリハーフカラーボジ	水戸市
261	草葺きの曲屋	昭和41.11	6×6モノクロ	水戸市
262	路面電車の線路と水戸市街の道路	昭和41.12	35ミリハーフカラーボジ	水戸市
263	だるま市	昭和42.1.8	35ミリハーフカラーボジ	水戸市
264	路面電車の軌道	昭和42.2.25	35ミリハーフ	水戸市
265	初午(稲荷の小祠)	昭和42.3	35ミリハーフカラーボジ	水戸市
266	板碑	昭和42.3.13~15	35ミリハーフカラーボジ	五霞村
267	2階建ての直屋	昭和42.3.13~15	35ミリハーフカラーボジ	五霞村
268	如意輪観音石仏の十九夜塔と地藏石仏	昭和42.3.13~15	35ミリハーフカラーボジ	五霞村
269	草葺きの民家	昭和42.3.13~15	35ミリハーフカラーボジ	五霞村
270	草葺き2階建ての民家	昭和42.3.13~15	35ミリハーフカラーボジ	五霞村
271	初午(かさ稲荷)	昭和42.3.13~15	35ミリハーフカラーボジ	五霞村
272	屋根が段違いになっている草葺きの民家	昭和42.3.13~15	35ミリハーフカラーボジ	五霞村
273	笠地藏のお堂	昭和42.3.13~15	35ミリハーフカラーボジ	五霞村
274	草葺きの直屋	昭和42.3.13~15	35ミリハーフカラーボジ	五霞村
275	名馬様のお堂と絵馬	昭和42.3.13~15	35ミリハーフカラーボジ	五霞村
276	草葺きの民家	昭和42.3.13~15	35ミリハーフカラーボジ	五霞村
277	平坦地の麦畑	昭和42.3.19	35ミリハーフ	桂村/七会村
278	子安観音石仏と馬頭観音のお堂	昭和42.3.19	35ミリハーフ	桂村/七会村
279	聖徳太子文字塔など	昭和42.3.19	35ミリハーフ	桂村/七会村
280	磨崖仏(孫根の観音)	昭和42.3.19	35ミリハーフ	桂村/七会村
281	磨崖仏のある洞窟	昭和42.3.19	35ミリハーフ	桂村/七会村
282	周囲に柵のある石	昭和42.3.19	35ミリハーフ	桂村/七会村
283	草屋根の直屋	昭和42.3.19	35ミリハーフ	桂村/七会村
284	草屋根葺き替え作業中の民家	昭和42.3.19	35ミリハーフ	桂村/七会村
285	笠間焼の登り窯	昭和42.3.19	35ミリハーフ	桂村/七会村
286	稲荷の小祠	昭和42.3.19	35ミリハーフ	桂村/七会村
287	板碑	昭和42.3.20	35ミリハーフ	五霞村
288	2階建ての草葺き民家	昭和42.3.20	35ミリハーフ	五霞村
289	如意輪観音石仏(十九夜塔)と地藏石仏	昭和42.3.20	35ミリハーフ	五霞村
290	水田と神社	昭和42.3.20	35ミリハーフ	五霞村
291	草屋根にトタンをかぶせた民家	昭和42.3.20	35ミリハーフ	五霞村
292	寺院境内の宝篋印塔など	昭和42.3.20	35ミリハーフ	五霞村
293	草屋根の民家	昭和42.3.20	35ミリハーフ	五霞村
294	十九夜供養の如意輪観音	昭和42.3.20	35ミリハーフ	五霞村
295	神社の建物の前に供えられた藁芭	昭和42.3.20	35ミリハーフ	五霞村
296	石塔と多数の藁芭	昭和42.3.20	35ミリハーフ	五霞村
297	草屋根の直屋	昭和42.3.20	35ミリハーフ	五霞村
298	地藏尊のお堂	昭和42.3.20	35ミリハーフ	五霞村
299	草屋根の直屋と仔牛	昭和42.3.20	35ミリハーフ	五霞村

	内容	撮影年月日	形態	撮影地等情報
300	庚申塔群	昭和42.3.20	35ミリハーフ	五霞村
301	集落景観	昭和42.3.20	35ミリハーフ	五霞村
302	六地藏と観音石仏	昭和42.3.20	35ミリハーフ	五霞村
303	五輪塔群と地藏石仏	昭和42.3.20	35ミリハーフ	五霞村
304	兜屋根の草葺き	昭和42.3.26	6×6モノクロ	常陸太田市
305	田に積まれた堆肥	昭和42.3.26	6×6モノクロ	常陸太田市
306	水路と田に積まれた堆肥	昭和42.3.26	6×6モノクロ	常陸太田市
307	兜屋根の草葺き民家	昭和42.3.27	6×6モノクロ	常陸太田市
308	西金砂小祭り	昭和42.3.27	6×6モノクロ	常陸太田市
309	マダラ鬼神祭	昭和42.4.10	35ミリハーフカラーポジ	大和村
310	神社境内の御神木	昭和42.8.7	35ミリハーフ	筑波町
311	草屋根の小さな神社	昭和42.8.7	35ミリハーフ	筑波町
312	庭先に干された植物	昭和42.8.7	35ミリハーフ	筑波町
313	小祠	昭和42.8.7	35ミリハーフ	筑波町
314	草屋根の建物	昭和42.8.7	35ミリハーフ	筑波町
315	天満宮霊座石表石碑	昭和42.9.26	35ミリハーフ	那珂湊市
316	天満宮霊座石表石碑	昭和42.9.26	35ミリハーフ	那珂湊市
317	海士	昭和42.9.26	35ミリハーフ	那珂湊市
318	念仏講	昭和42.9.26	35ミリハーフ	水戸市
319	くるり棒を使う女性たち	昭和42.9.26	35ミリハーフ	水戸市
320	機織り道具	昭和42.9.26	35ミリハーフ	水戸市
321	ワラホーデン	昭和42.12.18	35ミリハーフ	筑波町
322	背負い籠と女性	昭和42.12.18	35ミリハーフ	筑波町
323	草屋根の直屋	昭和42.12.18	35ミリハーフ	筑波町
324	十九夜観世音（文政13年）・二十三夜塔など	昭和42.12.18	35ミリハーフ	筑波町
325	石祠とワラホーデン	昭和42.12.18	35ミリハーフ	筑波町
326	土蔵造りの商家	昭和42.12.18	35ミリハーフ	筑波町
327	道標（「にし おふそね いちのや 江戸」）	昭和42.12.18	35ミリハーフ	筑波町
328	石塔（「つみをつくるべからず ばくちうつべからず」）	昭和42.12.18	35ミリハーフ	筑波町
329	虚空蔵尊のお堂	昭和42.12.18	35ミリハーフ	筑波町
330	石塔	昭和42.12.18	35ミリハーフ	筑波町
331	タテマエ（上棟式）	昭和43.2.8	35ミリハーフモノクロネガ	大宮町
332	兜屋根の草葺き民家	昭和43.3	35ミリハーフ	桂村
333	海岸に立つ鳥居	昭和43.3	35ミリハーフ	桂村
334	砂浜で海草を干す女性	昭和43.3	35ミリハーフ	桂村
335	紙漉き	昭和43.3	35ミリハーフ	桂村
336	曲りのついた草屋根の民家	昭和43.3	35ミリハーフ	桂村
337	へいさんぼう	昭和43.5・6	35ミリハーフモノクロネガ	出島村
338	三匹獅子	昭和43.7・8.3	35ミリハーフモノクロネガ	北茨城市
339	水田の向こうに見える鳥居	昭和43.7・8.3	35ミリハーフモノクロネガ	北茨城市
340	籠を背負う女性の後姿	昭和43.7・8.3	35ミリハーフモノクロネガ	北茨城市
341	籠を背負う婦人	昭和43.7・8.3	35ミリハーフモノクロネガ	北茨城市
342	馬小屋	昭和43.7・8.3	35ミリハーフモノクロネガ	北茨城市
343	山中の石仏と小堂の仏像	昭和43.7・8.3	35ミリハーフモノクロネガ	北茨城市
344	一年忌の法要	昭和43.7・8.3	35ミリハーフモノクロネガ	北茨城市
345	杉皮葺きの建物	昭和43.7・8.3	35ミリハーフモノクロネガ	北茨城市
346	自在鉤	昭和43.7・8.3	35ミリハーフモノクロネガ	北茨城市
347	民家の神棚	昭和43.7・8.3	35ミリハーフモノクロネガ	北茨城市
348	山を背にする農村風景	昭和43.7・8.3	35ミリハーフモノクロネガ	北茨城市
349	道端の鳥居様の木組	昭和43.7・8.3	35ミリハーフモノクロネガ	北茨城市
350	山中の石塔	昭和43.7・8.3	35ミリハーフモノクロネガ	北茨城市
351	山中の鳥居と石塔	昭和43.7・8.3	35ミリハーフモノクロネガ	北茨城市
352	山霊神の石塔（寛政8年）	昭和43.7・8.3	35ミリハーフモノクロネガ	北茨城市
353	栗野春慶塗	昭和43.8.31	35ミリハーフ	桂村
354	総社宮祭り	昭和43.9.14~15	35ミリモノクロ	石岡市
355	お堂（聖徳太子供養塔）	昭和43.9.30	35ミリハーフ	大宮町
356	草屋根の直屋	昭和43.9.30	35ミリハーフ	大宮町
357	二十六夜尊縁日	昭和43.11.8~9	35ミリハーフ	瓜連町
358	もっこを使う男性2人	昭和43.12.1	35ミリハーフ	大宮町
359	もっこを使う男性3人	昭和43.12.1	35ミリハーフ	大宮町
360	村の景観	昭和43.12.1	35ミリハーフ	大宮町
361	高道祖神社	昭和43.12.25	35ミリハーフ	下妻市
362	折り取った葦	昭和43.12.25	35ミリハーフ	下妻市
363	正月の市	昭和43.12.25	35ミリハーフ	水戸市
364	陽石2体（一体には安政年間の銘）	昭和44.1・3	35ミリハーフモノクロ	下妻市
365	道祖神の祠と境内	昭和44.1・3	35ミリハーフモノクロ	下妻市
366	葉タバコ栽培	昭和44	35ミリモノクロ	水府村
367	民具（加納家）	昭和45.2.21	35ミリハーフモノクロ	水戸市
368	「西宮御神具」箱蓋墨書（文化8年銘ほか）	昭和45.2.21	35ミリハーフモノクロ	水戸市
369	民具（加納家）	昭和45.2.21	35ミリハーフモノクロ	水戸市
370	藁（「鳥屋圓」）の引き札	昭和45.2.21	35ミリハーフモノクロ	水戸市
371	曲りのついた草屋根の民家	昭和45.2.21	35ミリハーフモノクロ	水戸市
372	家紋入りの行器（春慶塗）	昭和45.2.21	35ミリハーフモノクロ	水戸市
373	栗野春慶塗	昭和45.2.21	35ミリハーフモノクロ	水戸市
374	農鑑関係資料	昭和45.2.21	35ミリハーフモノクロ	水戸市

	内容	撮影年月日	形態	撮影地等情報
375	鍛冶職人	昭和45. 2. 21	35ミリハーフモノクロ	水戸市
376	押し絵職人	昭和45. 2. 21	35ミリハーフモノクロ	水戸市
377	茶畑	昭和45. 3. 14~15	35ミリハーフモノクロ	猿島町
378	田の中に立てられた大助人形	昭和45. 3. 14~15	35ミリハーフモノクロ	茨城町
379	周囲屋根の上まで割り石が奉納されている小祠	昭和45. 6. 25	35ミリハーフモノクロ	古河市
380	仕事着姿の女性たち	昭和45. 6. 25	35ミリハーフモノクロ	古河市
381	泉の中に立つ鳥居	昭和45. 7. 23~25	35ミリハーフモノクロ	玉造町
382	大般若経の祈祷木札	昭和45. 7. 23~25	35ミリハーフモノクロ	玉造町
383	大般若経祈祷の紙札等	昭和45. 7. 23~25	35ミリハーフモノクロ	玉造町
384	池の中に立つ鳥居	昭和45. 7. 29~31	35ミリハーフカラー	玉造町
385	石仏	昭和45. 7. 29~31	35ミリハーフカラー	玉造町
386	盆の高燈籠	昭和45. 8. 20	35ミリハーフモノクロ	大宮町
387	木碑が並ぶ墓地	昭和45. 8. 20	35ミリハーフモノクロ	大宮町
388	新盆の盆棚	昭和45. 8. 20	35ミリハーフモノクロ	大宮町
389	曲りのついた草屋根の民家	昭和45. 8. 20	35ミリハーフモノクロ	大宮町
390	葉タバコ栽培	昭和45. 8. 20	35ミリハーフモノクロ	大宮町
391	盆棚	昭和45. 8. 20	35ミリハーフモノクロ	大宮町
392	鉄鍋	昭和45. 9. 12	35ミリハーフモノクロ	河内村
393	横樋	昭和45. 9. 12	35ミリハーフモノクロ	河内村
394	鎌を使つての稲刈り	昭和45. 9. 12	35ミリハーフモノクロ	河内村
395	バインダーでの稲刈り	昭和45. 9. 12	35ミリハーフモノクロ	河内村
396	民家の草屋根に投げ上げられた藁の束	昭和45. 9. 12	35ミリハーフモノクロ	河内村
397	水辺の草地に放牧された牛	昭和45. 9. 12	35ミリハーフモノクロ	河内村
398	生垣を廻らせた草屋根の民家	昭和45. 9. 12	35ミリハーフモノクロ	河内村
399	オダ掛け	昭和45. 9. 12	35ミリハーフモノクロ	河内村
400	コンバインを使う人とその見物人	昭和45. 9. 12	35ミリハーフモノクロ	河内村
401	稲刈りをする女性たち	昭和45. 9. 12	35ミリハーフモノクロ	河内村
402	民家の土蔵	昭和45. 9. 12	35ミリハーフモノクロ	河内村
403	オダ掛け	昭和45. 9. 12	35ミリハーフモノクロ	河内村
404	オダ掛け	昭和45. 11. 22	35ミリハーフモノクロ	筑波山麓地域
405	結城袖	昭和45. 11. 22	35ミリハーフモノクロ	結城市
406	神社拝殿での直会	昭和45. 12. 10	35ミリモノクロ	水戸市
407	吉田神社祭礼	昭和45. 12. 10	35ミリモノクロ	水戸市
408	目籠	昭和45. 12. 10	35ミリモノクロ	水戸市
409	海岸	昭和45. 12. 10	35ミリモノクロ	日立市
410	鶴捕り	昭和45. 12. 31	35ミリモノクロ	十王町
411	石塔	昭和45	35ミリハーフカラー	茨城町
412	注連飾りの出店	昭和46. 1. 10	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
413	岩瀨万能膏とパッケージ	昭和46. 1. 10	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
414	足半草履	昭和46. 1. 10	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
415	松飾り	昭和46. 1. 10	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
416	曲りのついた草屋根の民家	昭和46. 1. 10	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
417	松飾り	昭和46. 1. 10	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
418	民家の台所	昭和46. 1. 10	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
419	松飾り	昭和46. 1. 20	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
420	正月の神棚	昭和46. 1. 20	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
421	囲炉裏	昭和46. 1. 20	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
422	松飾り	昭和46. 1. 20	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
423	囲炉裏	昭和46. 1. 20	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
424	縁側に座る3人の少女	昭和46. 1. 20	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
425	中島藤衛門貞詮紀功碑 (コンニャクが描かれた掛軸)	昭和46. 1. 20	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
426	柄杓を使って水を飲む子供	昭和46. 1. 20	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
427	金剛界大日如来	昭和46. 1. 20	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
428	山麓の斜面に開けた集落	昭和46. 1. 20	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
429	草屋根の直屋	昭和46. 1. 20	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
430	アワボヒエボ	昭和46. 1. 20	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
431	ザクマタ・雷神様の御札	昭和46. 1. 20	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
432	室内の鴨居に立てた幣束	昭和46. 1. 20	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
433	安産子育祈祷札 (山田宝珠庵)	昭和46. 1. 20	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
434	数珠繰り	昭和46. 1. 20	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
435	正月の市	昭和46. 2. 10	35ミリモノクロ	協和町
436	正月の市	昭和46. 2. 10	35ミリモノクロ	協和町
437	正月の市	昭和46. 2. 10	35ミリモノクロ	協和町
438	道祖神石仏 (安永3年)	昭和46. 2. 10	35ミリモノクロ	協和町
439	墨書のある杓文字	昭和46. 2. 10	35ミリモノクロ	協和町
440	民家入口に飾られたイワシの頭	昭和46. 2. 10	35ミリモノクロ	協和町
441	藁苞が供えられた小社	昭和46. 2. 10	35ミリモノクロ	協和町
442	藁苞とイワシの頭	昭和46. 2. 10	35ミリモノクロ	協和町
443	庭に立てられた目籠	昭和46. 2. 10	35ミリモノクロ	協和町
444	笹神さま	昭和46. 2. 10	35ミリモノクロ	協和町
445	成田山の御札	昭和46. 2. 10	35ミリモノクロ	協和町
446	紙垂のついた注連縄	昭和46. 2. 10	35ミリモノクロ	協和町
447	室内の柱につけられた幣束	昭和46. 2. 10	35ミリモノクロ	協和町
448	ワラホーデン	昭和46. 2. 10	35ミリモノクロ	協和町
449	結城袖を織る女性	昭和46. 2. 11、21	35ミリモノクロ	県西地域 (『日本の民俗 茨城』関連写真)

	内容	撮影年月日	形態	撮影地等情報
450	小社に奉納された毛髪	昭和46.2.11、21	35ミリモノクロ	県西地域(『日本の民俗 茨城』関連写真)
451	不明寺院本堂	昭和46.2.11、21	35ミリモノクロ	県西地域(『日本の民俗 茨城』関連写真)
452	結城紬を織る女性	昭和46.2.11、21	35ミリモノクロ	県西地域(『日本の民俗 茨城』関連写真)
453	寺院の柱に貼られた「め」の字の紙札	昭和46.2.11、21	35ミリモノクロ	県西地域(『日本の民俗 茨城』関連写真)
454	廻国塔	昭和46.2.11、21	35ミリモノクロ	県西地域(『日本の民俗 茨城』関連写真)
455	六地藏石仏	昭和46.2.11、21	35ミリモノクロ	県西地域(『日本の民俗 茨城』関連写真)
456	筑波山神社の辻札	昭和46.2.11、21	35ミリモノクロ	県西地域(『日本の民俗 茨城』関連写真)
457	藁苞を多数掛けられた地藏石仏	昭和46.2.11、21	35ミリモノクロ	県西地域(『日本の民俗 茨城』関連写真)
458	石塔と庚申塔	昭和46.2.11、21	35ミリモノクロ	県西地域(『日本の民俗 茨城』関連写真)
459	ザカマタ	昭和46.2.11、21	35ミリモノクロ	県西地域(『日本の民俗 茨城』関連写真)
460	十九夜文字塔(元禄15年)	昭和46.2.11、21	35ミリモノクロ	県西地域(『日本の民俗 茨城』関連写真)
461	掛軸に手を合わせる幼児と女性	昭和46.2.11、21	35ミリモノクロ	県西地域(『日本の民俗 茨城』関連写真)
462	石塔	昭和46.2.21	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
463	追善供養の札	昭和46.2.21	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
464	枕飯	昭和46.2.21	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
465	新仏の墓	昭和46.2.21	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
466	墓に吊るされた草鞋	昭和46.2.21	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
467	墓地に立てられた六地藏の燈明台	昭和46.2.21	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
468	阿弥陀三尊種子と仏像2体を刻んだ石塔	昭和46.2.21	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
469	草屋根式台つきの直屋型民家	昭和46.2.21	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
470	息つき竹と草鞋	昭和46.2.21	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
471	十三仏と札類	昭和46.2.21	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
472	三面六臂の馬頭観音石仏	昭和46.2.21	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
473	聖観音・千手観音・不空罽索観音石仏	昭和46.2.21	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
474	不動明王と二童子像石仏	昭和46.2.21	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
475	葬式	昭和46.2.28	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
476	ワラホーデン	昭和46.2.28	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
477	民具 唐箕	昭和46.2.28	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
478	手接神社への奉納物	昭和46.2.28	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
479	多数の奉納絵馬	昭和46.2.28	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
480	手接神社境内と社殿	昭和46.2.28	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
481	人名が書き連ねられた木の札	昭和46.2.28	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
482	墓地に立てられた六地藏燈明台	昭和46.2.28	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
483	不明寺院境内(石造の仁王像一対)	昭和46.2.28	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
484	石造仁王像(阿形)	昭和46.2.28	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
485	石造仁王像(吽形)	昭和46.2.28	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
486	念仏講	昭和46.2	35ミリモノクロ	守谷町
487	道祖神石塔・二股大根	昭和46.2	35ミリモノクロ	守谷町
488	お堂の壁に貼られた百堂供養の御札	昭和46.2	35ミリモノクロ	守谷町
489	力石か(二十九貫目の文字あり)	昭和46.2	35ミリモノクロ	守谷町
490	ヌルデ製の粥箸(ケーパン)・アワボヒエボ	昭和46.2	35ミリモノクロ	守谷町
491	ザクマタ・雷神様の御札	昭和46.2	35ミリモノクロ	守谷町
492	アワボヒエボ	昭和46.2	35ミリモノクロ	守谷町
493	餅を使ったつくりもの	昭和46.2	35ミリモノクロ	守谷町
494	托鉢僧	昭和46.2	35ミリモノクロ	守谷町
495	家の門に立つ托鉢僧	昭和46.2	35ミリモノクロ	守谷町
496	六地藏寺安産決定秘符并御守	昭和46.4.30	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
497	梵字(阿弥陀の種子)の板碑(康永2年)	昭和46.4.30	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
498	籠を背負う女性	昭和46.4.30	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
499	藁苞	昭和46.4.30	35ミリモノクロ	『日本の民俗 茨城』関連写真
500	七夕まつり	昭和46.8.10	35ミリモノクロ	土浦市
501	藁をもじる老人	昭和46.8.30	35ミリモノクロ	茅崎村
502	六字様	昭和46.8.18	6×6カラーポジ	緒川村
503	六字様	昭和46.8.18	6×6カラーポジ	緒川村
504	たらい船	昭和47.1.9	35ミリモノクロ	大洗町
505	磐座か	昭和47.4.7	35ミリモノクロ	常陸太田市(磯部神社)
506	鳥居	昭和47.8.1	35ミリモノクロ	大洗町
507	大洗磯前神社八朔祭	昭和47	35ミリモノクロ	大洗町
508	家印と屋号記した表(大洗漁協売買契約者)	昭和47	35ミリモノクロ	大洗町
509	オシメサマ	昭和47	35ミリモノクロ	勝田市
510	奉納絵馬	昭和47	35ミリモノクロ	大和村
511	茅の輪くぐり	昭和48.6	6×6カラー	水戸市
512	愛宕神社奉納絵馬	昭和48.7.9	35ミリモノクロ	玉造町
513	大里来迎院本堂	昭和48.7.9	35ミリモノクロ	常陸太田市
514	木出し	昭和48.8.5	35ミリモノクロ	大子町
515	木出し	昭和48.8.5	35ミリモノクロ	大子町
516	ささらの獅子頭	昭和48.8.5	35ミリモノクロ	大子町
517	木出し作業(割り竹を敷いた山道)	昭和48.8.5	35ミリモノクロ	大子町
518	囲炉裏に置かれたダルマストーブ	昭和48.8.5	35ミリモノクロ	大子町
519	木出し	昭和48.8.5	35ミリモノクロ	大子町
520	藁草履	昭和48.8.15	35ミリモノクロ	八郷町
521	藁を束ね縄をつけた道具	昭和48.8.15	35ミリモノクロ	八郷町
522	野良着の女性	昭和48.8.15	35ミリモノクロ	八郷町
523	真家のみたまおどり	昭和48.8.15	35ミリモノクロ	八郷町
524	囲炉裏	昭和48.8.31	35ミリモノクロ	大子町

	内容	撮影年月日	形態	撮影地等情報
525	屋根に千木を設けた直屋型の建物	昭和48. 8. 31	35ミリモノクロ	大子町
526	掛軸(文久3年の銘あり)	昭和48. 8. 31	35ミリモノクロ	大子町
527	講の記録(藤エ門講・秋葉様・風祭り・山の神)	昭和48. 8. 31	35ミリモノクロ	大子町
528	新盆の家の盆棚	昭和48. 8	6×6カラーポジ	八郷町
529	別雷神社祭礼(向井町の棒ささら)	昭和48. 10	6×6ネガカラー	水戸市
530	大串の稲荷神社祭礼(大串ささら)	昭和48. 11	35ミリモノクロ	常澄村
531	大串の稲荷神社祭礼(下大野みろく)	昭和48. 11	35ミリモノクロ	常澄村
532	大串の稲荷神社祭礼	昭和48. 11	35ミリモノクロ	常澄村
533	小祠	昭和48. 11	35ミリモノクロ	常澄村
534	大串の稲荷神社祭礼	昭和48. 11	35ミリモノクロ	常澄村
535	塚崎のささら(獅子舞)	昭和48. 11. 15	6×6カラーポジ	境町
536	大飯祭り	昭和48. 12. 13	6×6ポジカラー	岩瀬町
537	文書(庚申講の記録)	昭和48	35ミリモノクロ	大宮町
538	元始参の御札(小野鹿島高房神社)	昭和49. 1. 12	35ミリモノクロ	大宮町
539	親睦会諸入用帳(明治30年)	昭和49. 1. 12	35ミリモノクロ	大宮町
540	オカマサマ	昭和49. 1. 15	35ミリモノクロ	水戸市
541	オカマサマ	昭和49. 1. 15	35ミリモノクロ	水戸市
542	オカマサマ	昭和49. 1. 15	35ミリモノクロ	水戸市
543	繭玉	昭和49. 1. 15	35ミリモノクロ	水戸市
544	草屋根の直屋	昭和49. 1. 15	35ミリモノクロ	水戸市
545	石祠	昭和49. 1. 15	35ミリモノクロ	水戸市
546	七夕馬	昭和49. 1. 15	35ミリモノクロ	水戸市
547	俵の円座	昭和49. 1. 15	35ミリモノクロ	水戸市
548	御神体の石と供物の藁苞	昭和49. 7. 28	35ミリモノクロ	岩瀬町
549	不動様の御堂	昭和49. 7. 28	35ミリモノクロ	岩瀬町
550	水田の中にある畑	昭和49. 7. 28	35ミリモノクロ	岩瀬町
551	墓地に立てられた草履や草鞋	昭和49. 7. 28	35ミリモノクロ	岩瀬町
552	掛軸と入れ物の竹筒	昭和49. 7. 28	35ミリモノクロ	岩瀬町
553	幣束	昭和49. 7. 28	35ミリモノクロ	岩瀬町
554	神棚と加波山の御札	昭和49. 7. 28	35ミリモノクロ	岩瀬町
555	稲荷神社祭礼(大串のささら)	昭和49	6×6ポジカラー	常澄村
556	稲荷神社祭礼(大野のみろく)	昭和49	6×6ポジカラー	常澄村
557	洞沼	昭和50. 1. 14	35ミリモノクロ	茨城町
558	しじみを掻く道具	昭和50. 1. 14	35ミリモノクロ	茨城町
559	繭玉	昭和50. 1. 15	35ミリハーフカラー	大宮町
560	背守り	昭和50. 2	35ミリハーフカラー	千代田村
561	えりかけ餅	昭和50. 2. 22	35ミリモノクロ	常陸太田市
562	大洗海岸	昭和50. 3	6×6カラーポジ	大洗町
563	捕った貝を入れる網	昭和50. 3. 30	35ミリモノクロ	大洗町
564	貝を捕る道具	昭和50. 3. 30	35ミリモノクロ	大洗町
565	藁草履	昭和50. 3. 30	35ミリモノクロ	大洗町
566	水木当屋祭	昭和50. 3. 30	35ミリモノクロ	日立市
567	熊野神社祭礼	昭和50. 4. 5	35ミリモノクロ	大子町
568	草屋根の直屋	昭和50. 4. 5	35ミリモノクロ	大子町
569	熊野神社祭礼	昭和50. 5	35ミリカラーポジ	大子町
570	浅川のささら(獅子頭)	昭和50. 5	35ミリカラーポジ	大子町
571	熊野神社遷宮祭	昭和50. 5	35ミリカラーポジ	大子町
572	水田をマンノウで起こす	昭和50. 5	35ミリカラーポジ	協和町
573	田起こし	昭和50. 5	35ミリカラーポジ	協和町
574	馬耕	昭和50. 5	35ミリカラーポジ	協和町
575	親鸞上人説法石	昭和50. 7	35ミリモノクロ	石岡市
576	葉タバコの乾燥	昭和50. 8. 1~3	35ミリモノクロ	常陸太田市
577	谷津田と民家	昭和50. 8. 1~3	35ミリモノクロ	常陸太田市
578	愛宕神社祭礼の御仮屋	昭和50. 8. 1~3	35ミリモノクロ	常陸太田市
579	畑と民家	昭和50. 8. 1~3	35ミリモノクロ	常陸太田市
580	棚田と民家	昭和50. 8. 1~3	35ミリモノクロ	常陸太田市
581	傾斜地の農村	昭和50. 8. 1~3	35ミリモノクロ	常陸太田市
582	小祠	昭和50. 8. 1~3	35ミリモノクロ	常陸太田市
583	小祠に続く石段	昭和50. 8. 1~3	35ミリモノクロ	常陸太田市
584	草屋根の曲り屋・タバコ畑	昭和50. 8. 1~3	35ミリモノクロ	常陸太田市
585	背負い梯子	昭和50. 8. 1~3	35ミリモノクロ	常陸太田市
586	小祠	昭和50. 8. 1~3	35ミリモノクロ	常陸太田市
587	草屋根の曲屋と水田	昭和50. 8. 1~3	35ミリモノクロ	常陸太田市
588	棚田と山	昭和50. 8. 1~3	35ミリモノクロ	常陸太田市
589	水田と山と民家	昭和50. 8. 1~3	35ミリモノクロ	常陸太田市
590	愛宕神社の辻札	昭和50. 8. 1~3	35ミリモノクロ	常陸太田市
591	谷津の棚田	昭和50. 8. 24	35ミリモノクロ	里美村
592	山の神の鳥居	昭和50. 8. 24	35ミリモノクロ	里美村
593	山の神石塔・山の神像	昭和50. 8. 24	35ミリモノクロ	里美村
594	背負い梯子を使う女性	昭和50. 8. 24	35ミリモノクロ	里美村
595	水田と小川・田のクロでの大豆栽培	昭和50. 8. 24	35ミリモノクロ	里美村
596	鷲子山上神社祭礼	昭和50. 8. 7	35ミリハーフカラー	美和村
597	鎌の祭り(大国王神社)	昭和51. 1. 3	35ミリモノクロ	大和村
598	繭玉	昭和51. 1. 14	35ミリモノクロ	日立市
599	櫓の表皮をとる	昭和51. 1. 15	35ミリモノクロ	大子町

	内容	撮影年月日	形態	撮影地等情報
600	鍼入れて用いた松の枝	昭和51.1.15	35ミリモノクロ	大子町
601	傾斜地の椿畑	昭和51.1.15	35ミリモノクロ	大子町
602	束ねられた椿	昭和51.1.15	35ミリモノクロ	大子町
603	コンニャク玉	昭和51.1.15	35ミリモノクロ	大子町
604	トタン屋根の土蔵	昭和51.1.15	35ミリモノクロ	大子町
605	垣	昭和51.1.15	35ミリモノクロ	大子町
606	椿の乾燥	昭和51.1.15	35ミリモノクロ	大子町
607	水田に積まれた堆肥	昭和51.1.15	35ミリモノクロ	大子町
608	椿の枝を飾りつける女性	昭和51.1	35ミリカラーポジ	日立市
609	蕪玉	昭和51.1	35ミリカラーポジ	日立市
610	石仏のお堂前に集まった女性たちと子ども	昭和51.2.8	35ミリカラーポジ	大宮町
611	お堂・楕付き塔婆	昭和51.2.8	35ミリカラーポジ	大宮町
612	ご馳走を食べる女性たち	昭和51.2.8	35ミリカラーポジ	大宮町
613	地蔵の掛軸	昭和51.2.20	35ミリモノクロ	大宮町
614	石仏前での供養	昭和51.2.20	35ミリモノクロ	大宮町
615	石仏前での投餅	昭和51.2.20	35ミリモノクロ	大宮町
616	兜屋根の曲がりのついた草屋根の民家	昭和51.2.20	35ミリモノクロ	大宮町
617	講の会食	昭和51.2.20	35ミリモノクロ	大宮町
618	庭に立てられた目籠	昭和51.2.20	35ミリモノクロ	大宮町
619	調理をする女性	昭和51.3	35ミリカラーポジ	東海村
620	子安講	昭和51.5	35ミリカラーポジ	常陸太田市
621	クルリ棒	昭和51.6.5	35ミリモノクロ	大宮町
622	松の木	昭和51.6.5	35ミリモノクロ	大宮町
623	野良着の女性	昭和51.6.5	35ミリモノクロ	大宮町
624	神棚と幣束や御札が入った俵	昭和51.6.5	35ミリモノクロ	大宮町
625	間仕切りの戸と神棚	昭和51.6.5	35ミリモノクロ	大宮町
626	納戸に収納された蒲団	昭和51.6.5	35ミリモノクロ	大宮町
627	安産のお守り	昭和51.6.5	35ミリモノクロ	大宮町
628	氏神様	昭和51.6.5	35ミリモノクロ	大宮町
629	箱ふるい（宝暦14年）	昭和51.6.5	35ミリモノクロ	大宮町
630	唐箕を使った作業	昭和51.6.13	35ミリモノクロ	大宮町
631	麦の刈り取り	昭和51.6.13	35ミリモノクロ	大宮町
632	草屋根の直屋	昭和51.6.13	35ミリモノクロ	大宮町
633	麦の刈り取り	昭和51.6.13	35ミリモノクロ	大宮町
634	近津神社中田植	昭和51.6	35ミリモノクロ	大子町
635	井関の大人形	昭和51.8.29	35ミリモノクロ	石岡市
636	近津神社中田植	昭和51.8	35ミリカラーポジ	大子町
637	コンニャク畑	昭和51.8	35ミリカラーポジ	常陸太田市
638	傾斜地の集落	昭和51.8	35ミリカラーポジ	常陸太田市
639	トウキビ畑	昭和51.8	35ミリカラーポジ	常陸太田市
640	野良着の男性	昭和51.8	35ミリカラーポジ	常陸太田市
641	飯櫃	昭和51.9.3	35ミリモノクロ	水戸市
642	網針	昭和51.9.3	35ミリモノクロ	水戸市
643	漁具	昭和51.9.3	35ミリモノクロ	水戸市
644	鋤	昭和51.9.3	35ミリモノクロ	水戸市
645	木摺臼	昭和51.9.3	35ミリモノクロ	水戸市
646	浮子（木製）	昭和51.9.3	35ミリモノクロ	水戸市
647	地引網の絵馬（明治24年）	昭和51.9.3	35ミリモノクロ	水戸市
648	地機	昭和51.9.3	35ミリモノクロ	水戸市
649	苗籠	昭和51.11.10	35ミリモノクロ	水戸市
650	炭焼き小屋	昭和51.11.10	35ミリモノクロ	水戸市
651	唐箕	昭和51.11.10	35ミリモノクロ	水戸市
652	孫渡し	昭和51.12	35ミリカラーポジ	神橋町
653	椿の表皮の乾燥	昭和51	35ミリカラーポジ	大子町
654	椿の表皮とり	昭和51	35ミリカラーポジ	大子町
655	椿の表皮とり	昭和51	35ミリカラーポジ	大子町
656	傾斜地にある椿畑	昭和51	35ミリカラーポジ	大子町
657	水田と山々（峰寺から常陸平野の眺め）	昭和51	35ミリカラーポジ	石岡市
658	唐箕を使った稲の選別	昭和51	35ミリカラーポジ	大宮町
659	麦の刈り取り	昭和51	35ミリカラーポジ	大宮町
660	茅葺き直屋型民家	昭和51	35ミリカラーポジ	大宮町
661	野良着の女性	昭和51	35ミリカラーポジ	大宮町
662	野良着の女性	昭和51	35ミリカラーポジ	大宮町
663	長屋門	昭和51	35ミリカラーポジ	大宮町
664	水田の中の松	昭和51	35ミリカラーポジ	大宮町
665	水田と里山の集落	昭和51	35ミリカラーポジ	大宮町
666	機織り石	昭和51	35ミリカラーポジ	大宮町
667	凍みこんにやくづくり	昭和52.1.21	35ミリモノクロ	水府村
668	新田神楽	昭和52.1.23	35ミリモノクロ	鹿島町
669	小社の前に獅子頭を祀る	昭和52.1.23	35ミリモノクロ	鹿島町
670	新田神楽	昭和52.1.23	35ミリモノクロ	鹿島町
671	東金砂神社風除祭	昭和52.2.11	35ミリカラーポジ	水府村
672	地蔵観音石仏	昭和52.9	35ミリモノクロ	常陸太田市
673	傾斜地の集落	昭和52.9	35ミリモノクロ	常陸太田市
674	後生車を回す子供	昭和52.9	35ミリモノクロ	常陸太田市

	内容	撮影年月日	形態	撮影地等情報
675	粃の天日干し	昭和52.10.28	35ミリカラー	水府村
676	鹿島神宮参道	昭和53.7.28	35ミリモノクロ	鹿島町
677	地藏・観音石仏、馬頭観音文字塔等と奉納物	昭和53.7.29	35ミリモノクロ	東海村
678	箱に花を手向ける女性	昭和53.12	35ミリモノクロ	岩瀬町
679	笠間四十八灯籠	昭和54.8.20	35ミリモノクロ	笠間市
680	集落の景観	昭和55.5	35ミリモノクロ	水府村
681	畑仕事の女性	昭和55.5	35ミリモノクロ	水府村
682	傾斜地の畑で作業する女性	昭和55.5	35ミリモノクロ	水府村
683	籠を背負う女性	昭和55.5	35ミリモノクロ	水府村
684	地藏石仏	昭和55.5	35ミリモノクロ	常陸太田市
685	土饅頭の並ぶ埋め墓	昭和55.7.20	35ミリモノクロ	水府村
686	草屋根の民家	昭和55.7.20	35ミリモノクロ	水府村
687	傾斜地の集落	昭和55.7.20	35ミリモノクロ	水府村
688	傾斜地の畑と人家	昭和55.7.20	35ミリモノクロ	水府村
689	谷津の棚田	昭和55.7.20	35ミリモノクロ	水府村
690	子安観音石仏	昭和55.8.31	35ミリモノクロ	那珂町
691	馬の鞍	昭和56.10.21	35ミリモノクロ	東海村
692	成田山の木札	昭和55.11.20	35ミリモノクロ	常陸太田市
693	地藏石仏群	昭和58	35ミリカラーポジ	勝田市
694	石塔や石灯籠、奉納の手拭(小旗)	昭和58	35ミリカラーポジ	勝田市
695	多数の小旗が奉納されたお堂・小石が積まれた燈籠	昭和58	35ミリカラーポジ	勝田市
696	盆船	昭和59.8	35ミリカラーポジ	北茨城市
697	藁苞に入った神饌	昭和59.12	35ミリカラー	大洗町
698	葬式	昭和59	35ミリカラーポジ	大宮町
699	八幡神社の湯立て神事	昭和60.1.4	35ミリモノクロ	水戸市
700	六地藏燭台	昭和60.1	35ミリモノクロ	水戸市
701	傾斜地に立つ民家	昭和60.2.24	35ミリカラー	緒川村
702	西金砂神社小祭り	昭和60.3	35ミリカラー	金砂郷村
703	百体観音(磨崖仏)	昭和60.4.29	35ミリカラー	千代田村
704	大杉さま	昭和60.5.1	35ミリカラー	鉾田町
705	八溝のボンデン	昭和60.5.1	35ミリカラー	大子町
706	大杉さま 天狗様と焚き火	昭和60.5.1	35ミリカラーポジ	鉾田町
707	八溝のボンデン	昭和60.5.1~5	35ミリモノクロ	大子町
708	花園神社祭礼(ささら)	昭和60.5.3	35ミリカラー	北茨城市
709	花園神社に奉納されたアワビの絵と絵馬	昭和60.5.3	35ミリモノクロ	北茨城市
710	花園神社祭礼	昭和60.5.3	35ミリモノクロ	北茨城市
711	多数の湯石	昭和60.5	35ミリカラー	北茨城市
712	百体観音(磨崖仏)	昭和60.5	35ミリモノクロ	千代田村
713	大杉さま	昭和60.5	35ミリモノクロ	鉾田町
714	会瀬のささら	昭和60.5	35ミリカラー	日立市
715	自立風流物	昭和60.5	35ミリカラー	日立市
716	じゃんがら念仏	昭和60.8	35ミリカラーポジ	北茨城市
717	盆船	昭和60.8	35ミリカラーポジ	北茨城市
718	神峰祭	昭和60.5.4	35ミリカラーポジ	日立市
719	西金砂神社十二合祭	昭和60.12	35ミリモノクロ	金砂郷村
720	地藏石仏	昭和60か	35ミリカラーポジ	大宮町
721	白山神社オビシヤ	昭和61.1~4	35ミリモノクロ	取手市
722	豊受皇大神宮筒粥神事	昭和61.1.15	35ミリモノクロ	東海村
723	オビシヤ	昭和61.1.15	35ミリモノクロ	龍ヶ崎市
724	白山神社オビシヤ	昭和61.1.15	35ミリモノクロ	取手市
725	石塔・塔婆	昭和61.3	35ミリモノクロ	協和町
726	阿弥陀如来石仏	昭和61.3	35ミリモノクロ	協和町
727	金村別雷神社春例大祭	昭和61.旧3.15	35ミリカラーポジ	豊里町
728	筑波山神社御座替り神事	昭和61.4.1	35ミリカラーポジ	筑波町
729	十三塚	昭和61.4.1	35ミリカラーポジ	八郷町
730	十三塚	昭和61.4.1	35ミリカラーポジ	八郷町
731	筑波山神社御座替り神事	昭和61.4.1	35ミリカラーポジ	筑波町
732	天道念仏	昭和61.4.6	35ミリカラーポジ	常陸太田市
733	鮑杯神事	昭和61.4.7	35ミリモノクロ	水戸市
734	佐志能神社十二座神楽	昭和61.4.9	35ミリカラーポジ	石岡市
735	動物避けの割竹(墓地)	昭和61.4	35ミリモノクロ	石岡市
736	農具販売の市	昭和61.4	35ミリモノクロ	石岡市
737	天道念仏	昭和61.4	35ミリモノクロ	常陸太田市
738	庚申塔と地藏石仏	昭和61.4	35ミリモノクロ	常陸太田市
739	日月待供養塔	昭和61.4	35ミリモノクロ	常陸太田市
740	天道念仏	昭和61.4	35ミリモノクロ	常陸太田市
741	鮑杯神事	昭和61.4	35ミリカラーポジ	水戸市
742	観音掛軸(水戸笠原山神崎寺)	昭和61.4	35ミリカラーポジ	東海村
743	六地藏掛軸	昭和61.4	35ミリカラーポジ	東海村
744	新仏の墓地の龍頭や飾り物	昭和61.5.5	35ミリモノクロ	玉造町
745	大宮神社浜降り祭	昭和61.5.5	35ミリカラー	玉造町
746	西金砂神社本殿	昭和61.5	35ミリカラー	金砂郷村
747	普明神社釜鳴神事	昭和61.5	35ミリカラーポジ	真壁町
748	講中先達の委嘱状(昭和47年)	昭和61.5	35ミリカラーポジ	東海村
749	村松山からの講中世話入嘱託状(昭和9年)	昭和61.5	35ミリカラーポジ	東海村

	内容	撮影年月日	形態	撮影地等情報
750	二十三夜供養塔	昭和61.6.20	35ミリカラーポジ	協和町
751	金剛界大日石仏	昭和61.6.26	35ミリカラーポジ	関城町
752	石塔	昭和61.6.26	35ミリカラーポジ	関城町
753	奉納された剣形（駒ヶ滝不動尊）	昭和61.6.26	35ミリカラーポジ	関城町
754	時念仏供養の石仏（元禄15年）	昭和61.6.26	35ミリカラーポジ	関城町
755	加波山神社茅の輪くぐり	昭和61.6.28	35ミリカラーポジ	真壁町
756	静神社御田植祭	昭和61.6.5	35ミリカラーポジ	瓜連町
757	ナーバナガン	昭和61.6	35ミリカラーポジ	麻生町
758	板塔婆と葦草履	昭和61.6	35ミリカラーポジ	下館市
759	墓地の飾り	昭和61.6	35ミリカラーポジ	関城町
760	一ノ矢八坂神社にんにく祭	昭和61.7.13	35ミリカラーポジ	大穂町
761	青屋様	昭和61.7.20	35ミリカラーポジ	小川町
762	茅の輪くぐり	昭和61.7.31	35ミリカラーポジ	八千代町
763	カッター祭（五所駒滝神社）	昭和61.8.31	35ミリカラーポジ	真壁町
764	松の木	昭和61.9.10	35ミリモノクロ	大宮町
765	ガラガラセンド	昭和61.9.19	35ミリカラーポジ	荻崎町
766	田ん中祭り	昭和61.9.28	35ミリカラーポジ	七会村
767	総社宮祭礼	昭和61.9	35ミリカラーポジ	石岡市
768	八幡神社	昭和61.9か	35ミリカラーポジ	江戸崎町
769	有賀様	昭和61.11.11	35ミリカラーポジ	大洗町
770	阿部神社どろんこ祭り	昭和61.11.15	35ミリカラーポジ	石下町
771	御船神社剣養の神事	昭和61.11.25	35ミリカラーポジ	麻生町
772	加波山三枝祇神社本宮冬至の火祭り神事	昭和61.12.22	35ミリカラーポジ	真壁町
773	豊受大神宮筒粥神事	昭和61	35ミリカラーポジ	東海村
774	墓地に立てられた十三仏塔婆	昭和61	35ミリカラーポジ	関城町
775	萱葺き民家が残る集落	昭和61	35ミリカラーポジ	常陸太田市
776	田ん中祭り	昭和61	35ミリカラーポジ	七会村
777	露天商	昭和61	35ミリカラーポジ	豊里町
778	住吉神社オセンド	昭和61	35ミリカラーポジ	東海村
779	有賀様	昭和61	35ミリカラーポジ	大洗町
780	イイミミキケ	昭和62.1.14	35ミリカラーポジ	水戸市
781	庭先に立てられた目籠	昭和62.2.8	35ミリカラーポジ	東海村
782	ニンニク豆腐をつけたヒイラギの枝	昭和62.2.8	35ミリカラーポジ	東海村
783	ヤッカガシ（豆カラにイワシの頭）	昭和62.2.8	35ミリカラーポジ	東海村
784	えりかけ餅	昭和62.2.8	35ミリカラーポジ	東海村
785	針供養	昭和62.2.8	35ミリカラーポジ	東海村
786	針供養	昭和62.2.8	35ミリカラーポジ	東海村
787	疱瘡神社祭礼	昭和62.2.24	35ミリカラーポジ	協和町
788	地藏石仏（慶長）	昭和62.3.2	35ミリカラーポジ	東村
789	徳利と杯を持つ男女の道祖神（安永年間）	昭和62.3.26	35ミリカラーポジ	水戸市
790	雷神社湯立祭	昭和62.4.6	35ミリカラーポジ	下館市
791	十二所神社流鏝馬	昭和62.4.17	35ミリカラーポジ	大子町
792	粟野春慶塗	昭和62.7.31	35ミリカラーポジ	桂村
793	福德弁天境内の供養塔	昭和62	35ミリカラーポジ	水戸市
794	徳利と杯持つ男女の双体道祖神石仏	昭和62	35ミリカラーポジ	水戸市
795	百万遍供養塔（文化3年）	昭和62	35ミリカラーポジ	水戸市
796	愛宕神社火祭り（火渡り）	昭和62	35ミリカラーポジ	水戸市
797	鷺子彫製作	昭和63.2.12	35ミリカラー	美和村
798	真弓馬の製作	昭和63.2.12	35ミリカラー	東海村
799	船	昭和63.2.12	35ミリカラー	東海村
800	粟野春慶塗	昭和63.2.4	35ミリカラーポジ	桂村
801	石仏	昭和63.6.28	35ミリカラーポジ	関城町
802	石仏に貼られた戒名の紙	昭和63.8.19	35ミリカラーポジ	美浦村
803	鷲神社磐戸神楽	昭和63.9	35ミリカラーポジ	三和町
804	会瀬のささら	昭和63.10.3	35ミリカラーポジ	日立市
805	祈願者名と寄付金額の紙（虚空蔵堂入口）	昭和63.12.12	35ミリカラーポジ	古河市
806	宝篋印塔	昭和63.12.23	35ミリカラーポジ	筑波町
807	石塔	昭和63.12.23	35ミリカラーポジ	筑波町
808	日輪寺境内虚空蔵尊のお堂	昭和63頃	35ミリカラーポジ	筑波町
809	粟野春慶塗	昭和63頃か	35ミリカラーポジ	桂村
810	葬式	昭和63頃か	35ミリカラーポジ	茨城町
811	ワァホイ小屋（鳥追い）	平成1.1.14・15	35ミリカラー	北茨城市
812	七歳の祝着	平成1.2	35ミリカラーポジ	笠間市
813	笠間焼	平成1.2.7	35ミリカラーポジ	笠間市
814	金剛五仏種子とバク刻む石塔 庚申塔か	平成1.4.25	35ミリカラーポジ	東海村
815	神式の本碑と年祭の角塔婆	平成1.4.25	35ミリカラーポジ	東海村
816	道標兼ねる八衢彦大神文字塔（明治33年）	平成1.4	35ミリカラーポジ	東海村
817	煉瓦積の籠	平成1.4	35ミリカラーポジ	東海村
818	石塔	平成1.4	35ミリカラーポジ	東海村
819	六地藏石仏	平成1.4	35ミリカラーポジ	東海村
820	地藏・観音石仏	平成1.4	35ミリカラーポジ	東海村
821	土蔵	平成1.5.8	35ミリカラーポジ	東海村
822	三面六臂の石仏（宝暦13年）	平成1.5.8	35ミリカラーポジ	東海村
823	白・石白	平成1.6	35ミリカラーポジ	山方町か
824	葬式	平成1	35ミリカラーポジ	大宮町

	内容	撮影年月日	形態	撮影地等情報
825	ザクマタ (犬供養)	平成2. 3	35ミリカラーポジ	水戸市
826	地藏石仏	平成2. 3	35ミリカラーポジ	水戸市
827	村松虚空蔵尊参拝講中	平成2. 4. 3	35ミリカラーポジ	東海村
828	十三参り土産の福俵	平成2. 4. 3	35ミリカラーポジ	東海村
829	結城の桐下駄づくり	平成2. 8	35ミリカラーポジ	結城市
830	鹿島神宮御船祭	平成2. 9. 1	35ミリカラーポジ	鹿島町
831	花園神社磯出祭	平成2. 11. 3	35ミリカラーポジ	北茨城市
832	八郷の線香づくり	平成2. 12. 20	35ミリカラー	八郷町
833	水車	平成2. 12. 20	35ミリカラー	八郷町
834	水分神社石塔	平成2. 12. 20	35ミリカラー	八郷町
835	結城の桐下駄づくり	平成2	35ミリカラーポジ	結城市
836	花園神社磯出祭	平成2	35ミリカラーポジ	北茨城市
837	ザル神祭り	平成3. 3~4	35ミリカラー	東海村
838	盆の準備 (メハジキ燈籠)	平成3. 8. 10	35ミリカラーポジ	東海村
839	盆の準備 (マコモの敷物)	平成3. 8. 10	35ミリカラーポジ	東海村
840	メハジキ灯籠に絵を描く子供達	平成3. 8. 10	35ミリカラーポジ	東海村
841	注連縄づくり	平成3. 12	35ミリカラーポジ	東海村
842	注連縄づくり	平成3. 12	35ミリカラーポジ	東海村
843	箕の中の餅を折敷に入れる	平成3. 12	35ミリカラーポジ	東海村
844	蒸籠で餅米を蒸かす	平成3. 12	35ミリカラーポジ	東海村
845	家の樹木に注連縄を張る	平成3. 12	35ミリカラーポジ	東海村
846	餅つき	平成3. 12	35ミリカラーポジ	東海村
847	家族で供え餅を作る	平成3. 12	35ミリカラーポジ	東海村
848	注連縄を張った氏神の石祠、松と幣束を立てたワラホーデン	平成3. 12	35ミリカラーポジ	東海村
849	縁側の出し餅と軒下に吊るされた干し柿	平成3. 12	35ミリカラーポジ	東海村
850	正月の食事	平成3. 12	35ミリカラーポジ	東海村
851	ご幣を供えた文字入りの石塔 (湯殿山)	平成3	35ミリカラーポジ	水府村
852	前小屋城跡の泉	平成4. 2	35ミリカラーポジ	大宮町
853	大助人形の製作	平成4. 7	35ミリカラーポジ	東海村
854	天王さま	平成4. 7	35ミリカラーポジ	東海村
855	人形山車	平成4. 8	35ミリカラーポジ	潮来町
856	山車の人形を納める箱の蓋裏の墨書 (明治12年)	平成4. 8	35ミリカラーポジ	潮来町
857	山車の彫物部分	平成4. 8	35ミリカラーポジ	潮来町
858	人形山車	平成4. 8	35ミリカラーポジ	潮来町
859	米俵が積まれた山車	平成4. 8	35ミリカラーポジ	潮来町
860	大生神社巫女舞神事	平成4. 11. 14	35ミリカラーポジ	潮来町
861	日枝神社流鏝馬	平成5. 4. 15	35ミリカラーポジ	新治村
862	光明真言百億万遍供養塔	平成5. 4	35ミリカラーポジ	新治村
863	童子女松原	平成5. 5	35ミリカラーポジ	波崎町
864	庭先に置かれた丸い石	平成5	35ミリカラーポジ	水戸市
865	日枝神社流鏝馬	平成5	35ミリカラーポジ	新治村
866	上戸の獅子舞	平成6. 11. 23	35ミリカラー	牛堀町
867	地藏・観音石仏	平成6未	36ミリカラー	水戸市
868	向井町のささら	平成7. 11. 3	35ミリカラー	水戸市
869	棒ささらの振り方	平成7. 11. 3	35ミリカラー	水戸市
870	谷中の棒ささら獅子頭	平成7. 11. 3	35ミリカラー	水戸市
871	念仏回向塔 (文政5年)	平成7	35ミリカラーポジ	水戸市
872	ワァホイ小屋	平成8. 1. 14	35ミリカラー	北茨城市
873	清水のささら	平成8. 10. 10	35ミリカラー	里美村
874	折橋のお火消行列	平成8. 10. 10	35ミリカラー	里美村
875	三匹獅子の頭	平成8. 11. 12	35ミリカラー	里美村
876	小祠	平成8. 2. 8	35ミリカラー	鹿嶋市
877	「水戸東照宮御祭礼絵巻」大正4年水戸中学校教諭大橋三平筆 (接写)	平成8. 8	35ミリカラー	水戸市
878	お堂のなかにある棒状の石	平成9. 9	35ミリカラー	水戸市
879	ワラホーデンの中の石	平成9. 9	35ミリカラー	水戸市
880	杉の太木	平成9. 9. 27	35ミリカラー	美和村

香川敬三と明治の水戸藩士—武田金次郎らの知られざる末期—

石井 裕

一 香川敬三について

香川敬三（かがわいぞう一八四一—一九一五、旧名蓮田了介・鯉沼伊織・香川広安、変名蓮見東太郎・小林彦次郎、字は心豊、東州・白水などと号す）は、天保一二年（一八四一）一月一日、常陸国茨城郡下伊勢畠村（現在の茨城県常陸大宮市下伊勢畑）の郷土蓮田孝定の三男として生まれた（香川家戸籍、香川家文書二三七九八）。同村吉田神社の神官鯉沼意信の養子となり、鯉沼伊織と称した香川は、兄東三とともに水戸へ出て藤田東湖、加倉井砂山の日新塾などに学び、万延元年（一八六〇）には三六名の同志とともに江戸薩摩藩邸に投じたが、捕らえられて水戸藩駒込邸に禁獄された。文久三年（一八六三）春に水戸藩主徳川慶篤、同年秋にも徳川昭武に扈從して上京した香川は、在京の尊攘派の志士や公卿らと関係を深め、一時一橋慶喜の床机廻りとなっている。しかしその急進性が



写真1 香川敬三肖像
(明治23年 香川家文書15848 皇學館大
学研究開発推進センター史料編纂所)

忌避されて罷免、水戸藩からも嫌疑を受け、但馬・丹波・備前・周防・讃岐などに潜伏し、その間、松尾但馬（相永）の手引きで岩倉具視の知遇を得ている。この岩倉との運命的な邂逅が、香川のその後の人生を大きく飛躍させる

契機となった。

慶応三年（一八六七）一二月、香川は鷲尾隆聚を奉じて土佐の田中光顕や近江の三宮義胤、十津川郷士らと共に高野山で挙兵し、旧幕府の五条代官所などを接收して、明治元年（一八六八）正月に凱旋帰京した。その後、岩倉具視の依頼で東山道鎮撫総督岩倉具定、副総督岩倉具経の兄弟（両者とも具視の子）の補佐役として随従し、四月一日には軍監に任ぜられている。殊に香川の戦功として語られるのが下総国流山で元新選組局長近藤勇を捕らえたことだが（『水戸歴世譚』附二三〜四頁）、これに関しては諸説あり真偽は定かではない。

香川は、明治四年一二月の岩倉使節団に参加、帰国後の同六年三月に宮内省に奉職すると、一四年五月に皇后宮大夫兼宮内大書記官となり、これ以降、明治天皇の皇后である昭憲皇太后（美子皇后）の側近として、その崩御まで長く仕えることになった。香川は宮内少輔として枢密顧問官など政府高官を歴任し、伯爵や勲一等旭日桐花大綬章を授与されるなど、まさに位人臣を極めていた。また明治・大正期の宮内省の高級官僚として、土佐出身の二人の宮相、土方久元と田中光顕とともに「一種の元老」（『万朝報』明治四四年五月二四日付）とも呼ばれる隠然たる力を中央政官界で振るったと評されている。

戦前、東京日日新聞などで活躍したジャーナリスト伊藤金次郎は、香川を評して「土民から、伯爵へ、かれもまた風雲児であった。（中略）華族を見ると、水戸の徳川圀順の侯爵をはじめ（中略）ことごとく藩主ならざるはないのに、那珂河畔の百姓から、殿様の仲間入りするは、こ



写真2 香川敬三墓所(青山霊園、東京都港区)

れを風雲児と申さずして、何んとせう。」(伊藤金次郎『わしが国さ』刀江書院、一九二六、四六八頁。傍点筆者、以下同。)と述べている。旧水戸藩辺陲の地の一介の郷士から勲一等従一位伯爵という「殿様」の地位まで登りつめた香川は、まさに時代の「風雲児」と呼べる存在であった。

香川と同じく、宮内省で侍従長や主猟局長などを務めた旧水戸藩執政山口正定(一八四三—一九〇二、字は士格、通称徳之進、野鶴と号す。桜田門外の変の参加者山口辰之介の甥。正三位勲一等男爵)の日記に、きわめて印象的な場面が記録されている。

小梅邸ニ行ク、慶喜公、長岡護美(貴族院議員、熊本藩主細川齊護六男)、香川敬三、藤田健(藤田東湖二男、茨城県参事官)及ヒ余ナリ、昼饌ノ西洋料理御饗応ニ預ル、余ハ明治維新ハ屢慶喜公ニ謁シテ攘夷ノ激論等申上ケタルコトアリキ、則チ一橋公ト称シ奉ル時ノコトナリキ、其後將軍職ニ就カセラレテハ謁見モ出来スシテ原来親シク面謁シタルコトナシ、然ルニ本日ハ計ラスモ一堂ニ於テ共ニ昼饌ヲ賜ルハ余ニ於テ欣然ノ至ナリ

(「山口正定日記」明治三十一年六月一六日条、宮内公文書館蔵)

明治三十一年三月二日、最後の將軍徳川慶喜が約三〇年ぶりに明治天皇に謁見し、名誉回復を果たすという歴史的場面が演出されたが、その舞台裏で動いていたのが香川であった。その約三ヶ月後、旧水戸藩士でただ二人爵位を授与されたという香川と山口が、幕末に攘夷の激論をたたかわせた旧主慶喜と席を同じくして昼餐の西洋料理に舌鼓を打っている。三〇年という時の流れを越え、一介の郷士から栄進した香川(當時子爵)と、維新後長く静岡で隠棲していた元將軍慶喜(翌年公爵)とが、ともに華族という立場で邂逅する場面だが、変革期に特徴的な激しい身分昇降を内包した明治という時代と、香川がその時代の寵児の一人であったことを示す、きわめて象徴的な場面である。

二 香川家文書について

現在、香川敬三関係史料を含む香川家文書は、皇學館大学研究開発推進センター史料編纂所が借用、整理している(香川家の蔵書(主に敬三次男桜男のもの)は茨城県立図書館(寄贈)。戦災を免れ、同家により守り継がれてきた香川家文書は、香川敬三関係史料(主に書翰)を中心に約二万五〇〇〇点に及び、皇學館大学の上野秀治教授を中心に整理が進められ、現在仮目録が作成されている。同目録をみると、皇后宮大夫を長く務めた香川の履歴を反映して宮内省に関する史料が中心となっているが、それ以外にも水戸徳川家、旧水戸藩士など旧藩関係者、実家の蓮田家・鯉沼家などの茨城県関係史料が多数含まれている。

上野氏の論考『香川敬三と茨城』(『水戸史学』第七八・七九号、二〇一三)が発表されて以降、特に水戸藩関係の国事殉難者への贈位に果たした香川の役割が注目されているが、その他にも旧水戸藩士の生活扶助や就職斡旋、茨城県下での災害時の義捐金拠出、水戸徳川家評議員としての同家の運営、旧水戸藩及び旧水戸藩士の顕彰活動、水戸藩史料や大日本史の朝廷奉獻など、明治・大正期を通じた香川と茨城県との関わりは多岐

に及んでいる。生前に書かれた評伝でも「其の郷党の君を尊敬すること、今日神の如くに至れる所以のもの決して故なきにあらざる也」(前掲『水戸歴世譚』附二五頁)と評されており、明治以降の香川と茨城との関係の深さを窺わせる。

筆者は、平成二七年度から四度にわたり皇學館大学研究開発推進センター史料編纂所を訪れ、およそ一五〇〇点の香川家文書中の茨城県関係史料を調査した。主として旧水戸藩士関係の史料を調査したが、香川家文書には明治・大正という新しい時代を生きた、実に様々な旧藩士達の姿が記録されており、明治以降の旧藩関係者の動向や彼らの中央政府との関わりなどを探る上で、大変貴重な史料群となっている。

詳しくは別稿を期したいが、ここでは幕末水戸藩の重役として明治時代を迎えた、幾人かの旧藩士達の姿を紹介しよう。

三 鈴木重義と三木直

まずは執政鈴木重義(一八三八—一九〇六、諱は重睦、のち重義、内蔵次郎、靱負、縫殿などと称す)。鈴木重義は、安政六年(一八五九)、前年に水戸藩に下されたいわゆる戊午の密勅を大場景淑とともに水戸城の祖廟に納め、元治元年(一八六四)の禁門の変では藩主慶篤、その弟昭訓及び昭武を補佐して宮城守護に従事した。明治元年(一八六八)正月、藩政回復(「除奸反正」)を命ずる勅書を奉じて、体調を崩した大場に代わり本圀寺党三百余名を率いて東下し、その後の諸生党との戦いを指揮している。この時、相対した諸生党の重鎮鈴木石見守重棟は、重義の本家筋にあたる。その後、明治二年正月の版籍奉還時に政務局総裁となり、昭武帰国後の同八月の藩政改革で山口正定、武田金次郎、三木直とともに権大参事、翌年一月の改革では山口正定とともに大参事となった。しかし明治四年の廃藩置県により免官、その後は瑞龍山の水戸徳川家墓所守衛の任にあったという(横山康編『大正四年旧水戸藩贈位者諸

賢略歴』(私家版、一九一六)、河野正義編『贈位功臣言行録』(国民書院、一九一六)など)。

混乱する幕末水戸藩を主導した鈴木重義だが、香川家文書に登場する明治期の姿は、生活に困窮し、度々借金を周辺に申し出て旧藩関係者の評判を悪くするという、幕末期とは全く対照的なものであった。以下、関係する史料を見てみよう。

【史料1】六月二三日付香川敬三宛鈴木重義書翰

〔病氣不快の三男引取りに出京したが〕何分ニも困却罷在候間、何共申上候も赤面之至り御恥かしく御事ニ御座候得共、尊君へ伏而御欠入申上候、何卒御事多御不快之御中恐縮之至りニ御座候得共、金拾円何卒御恩借申上度、愚生平ニ奉歎願候、右之次第御汲取拜借相叶候趣御承諾奉希候
(香川家文書一六五六—一)

【史料2】六月二三日付香川敬三宛山口正定書翰

鈴木重義ハ縫殿之事ニ御座候、既ニ小子へも金子入用之事昨日より兩度申来候得共、是迄再三惠贈仕候末ニ付、今般者断申候、長谷川〔清、水戸徳川家家令〕之話ニ何二分此節者鈴木評判不宜趣ニ付、金子ハ借シ出ハ御見合可然相考申候
(香川家文書一六五六—一)

【史料3】明治三六年二月二七日付香川敬三宛酒泉直書翰

突然ニ御座候得共、友人鈴木重義(縫殿事)此程俄ニ吐血致遂ニ危篤ニ相成、其実死亡候処、同人義ハ維新之際著シキ勲功ハ無之候得共、京師ニ在テ禁闕ヲ守衛シ又先年水戸藩へ勅書ヲ賜候以来百節不撓国家ニ勤勞セシコトハ一般之欽仰セシ処ニ有之候間、何と歎特別ノ恩典ヲ蒙リ度秘ニ考候得共、出願致候而も其詮無之歟、寧ろ指控候方可然共奉存候得共、一応御内慮伺申度(鈴木重義は同年一

月三十一日没)

(香川家文書二六九四)

【史料1・2】は、鈴木が香川や山口といった旧水戸藩出身のいわば成
功者に借金を申し出た史料である。【史料1】の宛名は「従三位様」と
あり、香川が従三位となったのは明治一九年一〇月二〇日であること、
また長谷川清が同二四年一二月七日に死去していることから、同書翰は
明治二〇〜二四年のものと思われる。山口は、これまで何度も鈴木に金
を貸し、しかも最近評判がよろしくないの今回断ると、香川に伝え
ている。【史料3】は、鈴木が死去時に友人の酒泉直(本圀寺党、権少
参事など)が香川へ贈位の可能性を打診した史料だが、酒泉は鈴木を「維
新之際著シキ勲功ハ無之」と評しており、贈位を出願しても仕方ないな
ら差し控える、と半ば諦めながら香川へ「内慮」を伺っている。

しかし、後の大正天皇即位大典(大正三年)に伴う恩典で鈴木に従四
位が贈位され、酒泉の願いが実現することになった『大正大礼贈位内
申書』巻一四、一九一五、国立公文書館所蔵。

次は三木直(一八三〇—一九〇六、幼名は之経、左大夫と称す)。三木は、
第二代水戸藩主徳川光圀を養育した三木之次の支族の末裔である。弘化
元年(一八四五)に父之則を亡くし、僅か九歳にして家督を相続した直は、
幼少時に藤田東湖の庇護を受けたという。元治甲子の乱では武田勢に従
い敦賀まで西上、神保宿で梶又左衛門とともに武田耕雲斎らと別れ、上
京したのち備前岡山藩に潜居した。明治元年に本圀寺党とともに東下し、
鈴木重義の第一陣、岡部七十郎の第二陣につづく第三陣の長として水戸
へ下り、その後の諸生党との戦いを指揮する。その間、参政、執政へと
進んだ直は、同二年正月に山口正定とともに軍事局総裁となり、同八月
に軍事寮都督、のち権大参事となるが、同四年の廃藩置県で免官となり、
翌年七月の県令心得渡辺清(旧大村藩士)の入県時に起きた水戸城焼打
事件では首謀者の一人として捕縛された。同事件以降は野に下り、八坂

神社や入四間神社等に神官として奉職、「優遊家に老ゆ」という余生を
送ったとされる(服部鉄石『茨城人物評伝』私家版、一九〇二、茨城
県編『大正七年茨城県贈位者事蹟』茨城県、一九二〇)など)。
しかし、三木も最晩年は相当に経済的に困窮していたようだ。常磐神
社宮司のポストをめぐる三木が猟官活動を行っていたことを示す、次
の香川宛書翰を見てみよう。

【史料4】明治三十八年六月一四付香川敬三宛三木直書翰

実ハ愚老モ近來何事モナサズ、徒ラニ消光、随テ別ニ収入ノ途モ無
之困難ノ場合モ候ヘバ、相応ノ職務モト存居候処 常磐神社朝倉
〔政通、本圀寺党〕宮司神社ニ対スル種々不敬ノ行為有之、神社ノ
御威光ニモ関係スル場合ヨリ信徒ノ激昂スル所トナリ別紙ノ罪状内
務大臣并ニ神社局長へ具申致シ更迭ノ建議ニ及ビ居リ候、然ルニ愚
老ノ家ハ別紙ノ如ク義公トハ殊別ノ関係有之家筋ナレバ該社ニ奉職
スルコトヲ得ルハ誠ニ本意ノ事ニ存スレドモ御胞衣塚保存問題以來
小梅邸ノ御機嫌ヲ損シ之ニ加フルニ県庁ニ於テハ高橋〔諸隨、愛諸
の養子〕参事官小梅邸ノ鼻息ヲ伺ヒ傍中途ノ障害モ有之候事ト存シ
候、就テハ閣下ノ御尽力ヲ得バ神社ニ奉仕スルコトヲ得ベク然ルト
キハ一ハ愚老ガ老后ノ国恩ニ報ユルコトヲ得、一ハ義公以來水戸家
ニ尽シタル素志モ其幾分ヲ貫徹スルコトヲ得ル事トモ存候

(香川家文書七二二八)

【史料5】明治三十九年六月一日付香川敬三宛三木直書翰

愚老も常磐神社宮司ノ見込失望故持屋敷諸品皆悉金方へ差向ケ先達
有志ノ尽力ニテ北三ノ丸城下杉山、小沢持屋敷特別無代佃ニテ借入
風雨ヲ凌ぎ居り候、今日ノ場合実ニ御話しノ外ニ御座候、然し国下
市ノ為ニハ尚進ンデ去ナガラ今かくと合計言語ニ述ベ難し、此上ハ

非常ノ改革致ス心得ニ付是非出京御尊顔ヲ得、移伝料トシテ金貳拾五円頂戴奉願度、出京費日夜愚考罷在候得共、工風ノ見込モ無之、不得止書中ヲ以テ奉歎願候、然ルニ先達幕大ナル〇ヲ下され一時相凌ぎ候得共、内情ノ許サヽルニ付右ノ次第ニテ誠ニ赤面ノ至リヲも顧不御内願仕り候、昨今指を腫ラシ筆ヲ取る事叶ズ故孫ニ申つけ認メサセ候間、御判じ奉願候
(香川家文書七二二一)

日露戦争の最中、日本海海戦の翌月にあたる明治三十八年六月一日に三木は、最近仕事もなく経済的に困窮している、常磐神社宮司朝倉政通の「不敬ノ行為」を指摘して内務大臣と同省神社局長に朝倉の更迭を具申した、光圀に縁深い三木氏の末裔である自分こそ常磐神社の宮司にふさわしい、ただ水戸徳川家や高橋諸随員参事官などの「障害」が予想されるので助力してほしい、と香川に訴えている(史料4)。

三木らの執拗な攻撃による心労からか、朝倉は翌年三月二十八日に脳溢血と心臓麻痺で急死した。どうやらその後釜を狙って三木のほかにも種々の運動があつたようだが(同年四月一二日付香川敬三宛武田猛書翰、香川家文書二九五四)、結局京都にいた大場景淑の子景為が宮司に就任する。父祖との縁を強調して常磐神社への奉職を熱望した三木だが、その夢も潰え去り、家屋敷を売却して借家住まいを余儀なくされた。

【史料5】は「実ニ御話しノ外」の生活を送る三木が孫に代筆を頼み、香川へ度重なる借金を申し出たものであるが、同書翰からは旧藩関係者の間でも孤立を深め、老衰や経済的困窮に苦しむ最晩年の三木の姿が浮かび上がってくる。この書翰から約半年後、明治三十九年二月一三日に三木は「優遊家に老ゆ」とは程遠い、侘しい借家暮らしのまま死去した(享年七七歳)。

四 武田金次郎の知られざる末期

明治二十八年(一八九五)三月二十八日、日清講和談判のために来日していた清国全権李鴻章が暴漢小山豊太郎に銃撃されるといふ衝撃的な事件(同月二十四日)が起こり、日清戦争をめぐる国際的な緊張が高まるなか、水戸の一隅でひっそりとその生涯を閉じた人物がいる。天狗党首領武田耕雲斎の嫡孫にして、幕末の水戸藩を闇深き暗黒恐怖の世界へと陥れたと評される、武田金次郎(一八四八—一九五、諱は蓋)である。

金次郎は、嘉永元年(一八四八)八月一日、武田耕雲斎の長男彦右衛門と妻幾子(藤田東湖の妹)の子として生まれた。元治甲子の乱で祖父耕雲斎、父彦右衛門とともに西上した金次郎だが、敦賀神保宿で加賀金沢藩に投降、遠島の刑を受け、後に小浜藩預りとなる。明治元年二月、許されて本圀寺に合流した金次郎は、同三月に命を受けて一三〇名の同志とともに東下したが、「奸人の毒刃にかかり、悉く非命に斃れた一族の仇」(坪井四郎兵衛『天保明治水戸見聞実記』知新堂、一八九四、一〇〇頁)を果たさんと復讐に燃える金次郎らが行った、江戸と水戸での諸生党への肅正の苛烈さはあまりにも有名である。帰藩後は参政へと進み、北越や弘道館などでの諸生党との戦いを指揮、明治二年七月に権大参事となったが、その間、久米幹文や青山延年をはじめ約



写真3 武田金次郎写真
(『勤皇遺烈集』勤皇事績顕彰会
昭和11年)

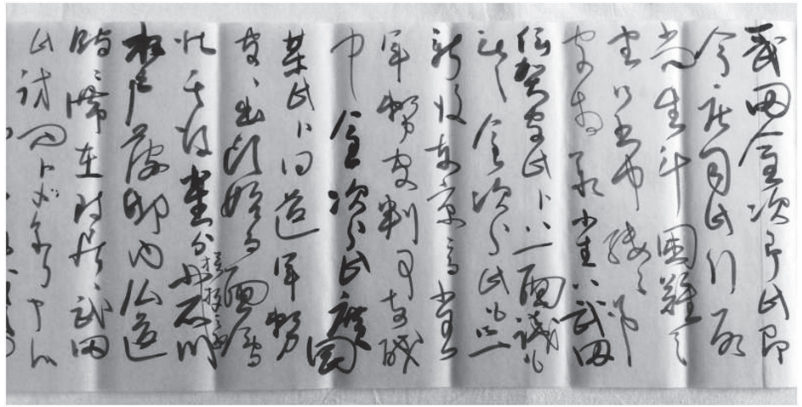


写真4 明治27年12月23日付酒泉直宛香川敬三書翰
(香川家文書5734 皇學館大学研究開発推進センター史料編纂所)

五〇〇名の藩士が登城して金次郎らの行き過ぎた私刑を藩の重役に訴え出るなど、藩内では金次郎への反発も生じていた。他の藩士と同様、明治四年の廃藩置県で金次郎は免官となったが、その後の動向はようとして知れない。

しかし今回、香川家文書中に晩年の金次郎の悲惨な状況を窺い知ることのできる貴重な史料を発見した。武田猛（耕雲齋）五男、大阪や京都の地方裁判所検事など）や朝倉政通（本圀寺党、常磐神社宮司）らと共に旧水戸藩士の顕彰運動に従事していた酒泉直（本圀寺党）と香川との往復書翰に、晩年、乞食同様の生活を余儀なくされた金次郎の悲惨な姿が、生々しい描写とともに記されているのである。以下、その内容を見てみよう。

【史料6】明治二十七年二月三日付酒泉直宛香川敬三書翰

武田金次郎氏即今庄司氏引取、尚生計困難之由御書中縷々御申聞拝承、小生ハ武田伊賀守「耕雲齋」氏トハ一面識も無之、金次郎氏も御一新後東京ニ而小生軍務官判事奉職中、金次郎氏、広岡某「逸人、広岡子之次郎の養子」氏ト同道、軍務官へ出頭、始而面会仕、其後小生より挨拶之為小石川水戸藩邸内弘道館ニ滞在致居候、武田氏訪

問トシテ参り申候、右之如く一兩度之面会ニ而懇親之人ニハ無之候得共、先方よりハ其後廢藩後武田も一士人トナリシ後、度々入来、いつも金談多く俗之談話ニ而別れ候得共、小生より同氏へ惠与致候、金七十円、五十円、十円、七円杯ト度々支出致し已ニ何百円トも相成候事申ト被存候、小生ハ旧時武田氏杯ニハ願候而も拝謁被仰付候身分ニ無之者ナレトモ、同国人ニ対シ義務ハ尽し候心得ニ御座候、旧知事公「徳川昭武」ハ何千円位御惠与相成候や、御序ニ御申聞奉願候、武田伊賀守殿ハ水戸藩老職も相勤メ国事尽力種々艱難之末越の雪ト消失セ、過般 朝廷より位も贈ラセラレ候程之人故、君臣ノ義アル旧知事公コソ小生杯ノ生前面会もセヌ者トハ天地之相違故、定而旧水戸藩重臣方よりも願上、多額之金子被下候事ト奉存候、却説武田金次郎氏塩原ニありて困難ヲ極メ居ルトハ聞シカ、如何ナル様子カ不相分、同氏之近親ナル岩間「誠之」氏ニ聞きいかにも憫然ニ堪ヘス、折々少々之金子ヲ送り候得共、目前ニ其困難ノ実況ヲ見ザレハ左程トモ思ハサリシニ、過ニシ頃無抛用事アリ、一泊掛ニ而塩原へ行キシニ路边ニ小屋アリ、所謂非人小屋ノ如シ、近ツキ見レハ豈ニ斗ンヤ武田金次郎氏ナリ、小生実ニ驚愕、思ハズ流涙仕候、小生車より下リ金員ヲ出シ惠与ス、武田氏喜悅面ニ顯ハル、暫時ニシテ別ヲ告ク、其時同氏ハ起居不自由、往來人ヲ見テ平臥シ居レリ、旧時水戸侯之老臣伊ガ守之嫡孫タル者如此カト幾度カ小生落涙仕候、其後当年秋ノ末頃藤田健氏ニ面会致候、同氏之近親ナル事ハ兼而聞キシカいかなる縁辺カト相尋候所、藤田健氏之伯母ノ子則金次郎氏ナリト云、実ニ近親ナリト小生モ知ル事ヲ得タリ、然ラハ最近親ナル者ハ藤田氏、岩間氏、山口「正定」氏モ藤田氏ト近親ナルヲ以武田ト親類タルヲ不免カレ、其他ニも多々故旧知己親戚可有之、一人も手ヲ出シ候者無之事ニも有之間敷候得共、今日まで塩原途上ニ金次郎氏ヲ見セ物ニ差置候ハいかにも水戸ト云所ハ薄情

人斗リ之様ニ思ハレハセヌカ、先以小生水戸領内生れの一人ニ而難捨置旨藤田氏へも相談致候所、同氏曰ク、いつれ引取度ト庄司トモ相談中ノ由申居候間、夫ナレハ幸ナリ、早く引取之方可然、もしも塩原之途上ニ而病死等有之候時者世上の人へ何トモ申訊無之、塩原近辺ハ申ニ及ハズ、塩原へ年々出入スル浴客貴賤トナク水戸の武田金次郎タル事ヲ知ラサル人ナシ、水戸旧藩ノ恥ニ相成候間、早々引取候様藤田氏へ申入、小生より僅少ナカラ同人引取入費トシテ金五十拾円義捐致候、又早速庄司氏塩原へ行キ引取候由小生迄藤田氏より報知有之候、将来も小生ハ少々之金子ハ折々恵与可致ト兼々心得居候間、小生より之義捐金者小生より直々本人カ又ハ藤田氏へ送り可申、武田氏之旧部下又ハ同家之恩顧ヲ蒙リタル人々之内へ御加へハ乍憚御免被下度候

(香川家文書五七三四〔写真4〕)

【史料7】明治二十七年二月二十五日付香川敬三宛酒泉直書翰

尚武田金次郎之數回御恵与被下候儀始て承知感佩此事奉存候、向後共尊意ニ被懸候趣、本人者勿論〔武田〕耕雲斎も於地下感涙ニ及候儀奉存候、我々者乍存行届ス、汗顔之至ニ御座候、金次郎引取之節五十金御恵与之儀承知不仕、全く藤田〔健〕、岩間〔誠之〕等ニ而操り合候事存仕候処、貴翰ニ而承知仕、誠ニ忝次第二御座候、早速ノ莊司呼寄支出方取糺追而可申上候、過日願上候義捐之儀者何之振か尊慮次第御恵与サへ被下候へハ本人取凌相付候事ニ御座候間、宜敷御含可被下候

(香川家文書五七三二五)

亡くなる約三ヶ月前、親類や友人からも見放され、栃木県那須の塩原温泉の路辺で乞食同然の悲惨な生活を送っていた金次郎に、実は香川が助けの手を差しのべていた。その零落した姿を見て「驚愕」した香川は、自分は金次郎とは数度の面識しかないにもかかわらず廃藩後に数百円の

援助を行ったが、旧主昭武や旧重臣達は一体如何ほどの援助を行ったのか、このまま金次郎を「見せ物」のように放置したあげく、もし病死でもしたら「水戸旧藩ノ恥」であると、詰問するような強い語調で金次郎周辺の薄情な対応ぶりを指弾している。

結局、香川の資金援助のもと、藤田健や岩間誠之ら親類達によって引き取られた金次郎は、その約三ヶ月後に故郷の水戸で亡くなった。享年四八歳。その墓所は水戸市内の妙雲寺にあり、祖父耕雲斎や叔父猛の傍らに、金次郎の墓碑がひっそりと建てられている(写真5)。

明治四〇年一月一日付の香川宛武田猛書翰に、大和・生野の変関係者の贈位と合わせて「姪金次郎事歴」を「別紙の通り」として香川に伝えた記述がある(香川家文書六〇七八)。残念ながらその事歴書は欠如しているが、これは香川と武田猛が金次郎顕彰の可能性を探っていたことを示唆しているよう。実際にその半年前の同年五月、金次郎は父彦右衛門や叔父魁介らと共に「特殊ノ恩命ニ浴シ」(香川家文書一一九七八)、正五位を贈位されている(『明治四十年 叙位裁可書』卷二二、国立公文書館所蔵)。



写真5 武田金次郎墓碑(妙雲寺 水戸市)

主な参考文献(香川敬三関係)

- 杉本勝二郎編 『華族列伝 国の礎』下編(国の礎編輯所 一八九五)
飯島唯一 「勤王家皇后宮大夫從二位勲一等伯爵香川敬三閣下略伝」
(鈴木成章編『水戸歴世譚』富国強兵社 一九〇七)
室伏勇 「香川敬三」(『茨城の顔』茨城新聞社 一九六九)
松平秀治 「維新前後の香川敬三とその関係文書」(『皇學館大学史料編纂所
報』第五三号 一九八二)
同 「香川敬三の履歴」(『皇學館大学史料編纂所報』第五七・五八号
一九八三)
香川擴一監修 『香川敬三履歴史料』(皇學館大学史料編纂所編 一九九二)
上野秀治 「香川敬三」(『水戸の先人たち』水戸市教育委員会 二〇一〇)
同 「香川敬三と茨城」(『水戸史学』第七八・七九号 二〇一三)
水戸市史編さん委員会編 『水戸市史』中巻五(水戸市 一九九〇)

*本稿執筆に際し、皇學館大学の上野秀治教授、久信田喜一会長をはじめ茨城
地方史研究会の皆様にご助力をいただきました。末筆ながら、記して
謝意を表します。

(近現代史部会専門調査員・茨城県立歴史館主任研究員)

引用・参考文献

- 茨城県生活環境部 1985 『茨城の特定動植物の分布—動物編—』 pp. 230
- 大場信義 1975 「ヒメボタル *Hotaria parvula* の生活史」『横須賀市博物館雑報』 21 pp. 5-8
- 大場信義 2016 「ヒメボタルの2生態型について」『全国ホタル研究会誌』 49 pp. 25-27
- 大桃定洋・斎藤修司 2007 「阿武隈山地の甲虫の記録 その4」『InsecTOUHOKU』 20 pp. 15～23
- 梯公平 2015 『保全を目的としたヒメボタルの分布と移動の特性に関する研究』（東京大学博士（農学）学位論文）
- 倉西良一 2004 「房総半島におけるヒメボタル再発見—その経緯と生息状況概観—」『房総の昆虫』 33 千葉県昆虫談話会
- 佐々木大輔・佐々木泰弘 2017 「茨城県北山地のヒメボタル」『るりぼし』 46 水戸昆虫研究会 pp. 97～98
- 栃木県立博物館所蔵品データベース 参考 URL : www.muse.pref.tochigi.lg.jp (標本番号 111933～111938)
- 水戸昆虫研究会編 1995 『茨城県の昆虫』 水戸市博物館 pp. 141

(自然部会専門調査員・茨城県立高校教員)



写真3 ヒメボタルの生息環境(地点1)



写真4 未確認地点の環境(地点11)

表2 観察地点一覧

地点	地名	標高(m)	観察日	採集・確認個体数
1	籠岩 (常陸大宮市諸沢～北富田)	350	2017年7月1日	5♂採集, 20以上♂, 2♀目撃
			2017年7月21日	1♀採集, 1♂1♀目撃
2	西金砂神社 (常陸太田市上宮河内町)	330	2017年7月8日	約10♂目撃
3	武弓 (常陸太田市上高倉町)	395	2017年7月4日	2♂採集, 約10♂目撃
4	武弓 (常陸太田市上高倉町～下高倉町)	420	2017年7月4日	約10♂目撃
5	武弓 (常陸太田市下高倉町)	330	2017年7月4日	3♂採集, 約10♂目撃
6	東金砂神社 (常陸太田市天下野町～東染町)	375	2017年7月10日	3♂採集, 約10♂目撃
7	猿喰のケヤキ (常陸太田市徳田町)	440	2017年7月19日	×
8	里美牧場 (常陸太田市里川町)	640	2017年7月19日	×
9	常陸太田市小妻町	500	2017年7月19日	×
10	日立市中深荻町	315	2017年7月6日	×
11	日立市東河内町	290	2017年7月6日	×
12	十国峠 (常陸太田市西河内町)	275	2017年7月10日	×
13	真弓山 (常陸太田市真弓町)	260	2017年7月14日	×

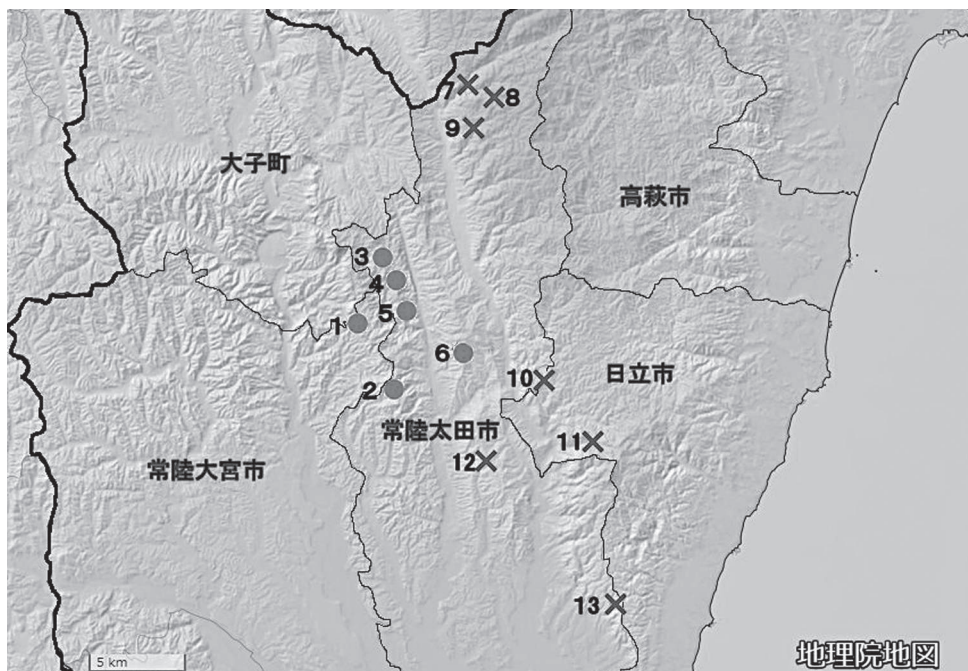


図1 ヒメボタル調査地点(●は確認地点, ×は未確認地点)
 出典:国土地理院ウェブサイト(<http://maps.gsi.go.jp>), 地理院マップシート
 (http://renkei2.gsi.go.jp/renkei/130326mapsh_gijutu/)を用いて作成

ヒメボタル新生息地

今年の昆虫調査で夜間採集を行った際、2017年（平成29）7月1日に常陸大宮市諸沢でヒメボタルを確認することができた（写真1）。その後付近の山地での生息地も確認することもできた。

今回の調査地点と環境写真を写真2～4、表2、図1に示す。里川を挟んだ西側の山地のほぼすべての調査地点で見られたが、東側の山地ではどの地点においても確認することはできなかった。7月21日に地点1で再度ヒメボタルを確認しているため東側の観察時期に問題はなかったと思われる。

大場によると [大場 2016]、この地域に分布する本種は、雄の体長が 7.3 ± 0.8 mm ($n = 12$)、発光感覚が 0.6～1.2 秒に 1 回であったことから、筑波山と同様東北地方に幅広く分布する大型タイプであると考えられる。観察時間は地点1を除いて30分～1時間であったが、どの地点においても、夜中0時前後に発光を始めた。地点1では、深夜3時過ぎまで観察していたが、時が進むにつれ、飛翔する雄の数は増していった。地点7～13では、本種が確認された1～6地点と植生や林床等の環境が似ているにも関わらず、確認できなかった。山が険しい籠岩や武生周辺と比べ、里美村～真弓山周辺は比較的山がなだらかで戦前から放牧や林業が盛んであるため、土地利用が本種の分布に影響を与えているのではないかと考えられるが、調査が不十分なため今後の課題である。

今まで県内の記録が少なかったのは、本種の活動時間帯が0時以降と夜遅く、普段目にするこがなかったからであって、今後深夜に調査する人が増えれば新産地は自ずと増えていくと思われる。常陸大宮市でも尺丈山、鷲子山、御前山系からも記録される可能性があると考えている。



写真1 常陸大宮市で確認したヒメボタル
（常陸大宮市諸沢 2017年7月1日撮影）

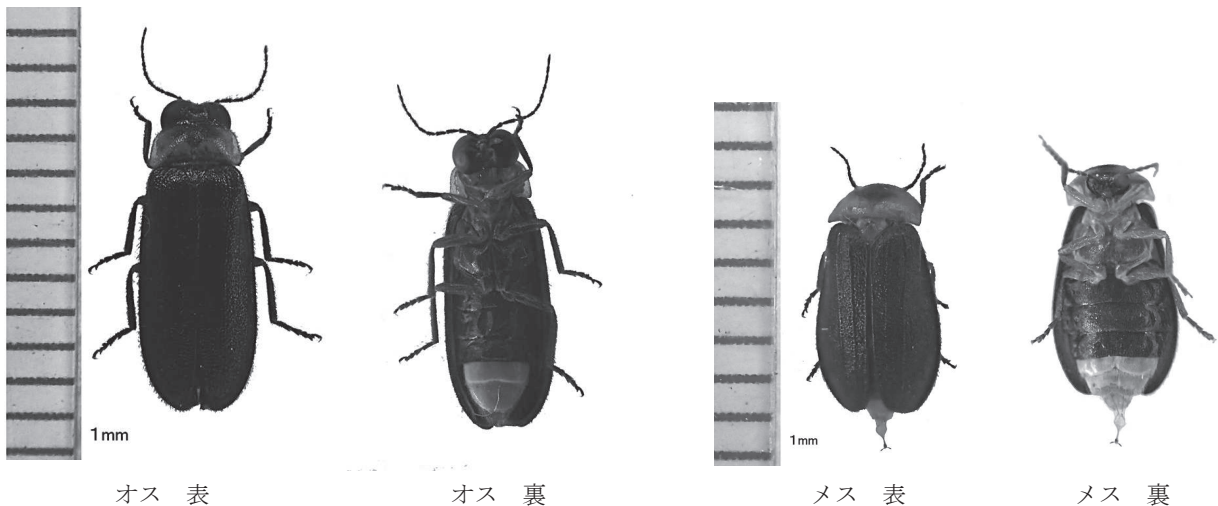


写真2 ヒメボタル雌雄（♂は2017年7月1日諸沢，♀は2017年7月21日諸沢での採集個体）

<研究ノート>

常陸大宮市でヒメボタルを確認

佐々木 泰弘




はじめに

常陸大宮市でヒメボタル *Luciola parvula* の生息地を確認したので報告する。ヒメボタルは県北山地での確実な記録が近年なかった種である。なお、本原稿の文章・図表の多くは「茨城県北山地のヒメボタル」[佐々木・佐々木 2017] から引用した。

茨城県のホタルについて

ホタルは発光する昆虫として有名である。茨城県内からホタル科の昆虫は、20種ほど確認されているが、その中で目立つ光を放つのは3種だけである。ゲンジボタル *Luciola cruciata*、ヘイケボタル *Luciola lateralis*、とヒメボタル *Luciola parvula* である(表1)。ゲンジボタルとヘイケボタルは県内に局所的ではあるが広く生息していることが知られていた。しかし、両種とも近年生息地の減少が見られ、ゲンジボタルは茨城県の準絶滅危惧種に指定されている。現在、常陸大宮市で進めている生物調査では、ゲンジボタル、ヘイケボタルとも市内にわりと広く分布していることがわかってきた。

表1 ホタル3種の区別点と特徴

ゲンジボタル <i>Luciola cruciata</i> 赤色部の黒帯は狭く中央が少し膨らむ	ヘイケボタル <i>Luciola lateralis</i> 赤色部の黒帯は広く平行である	ヒメボタル <i>Luciola parvula</i> 赤色部の黒帯は逆三角形である
 体長:15~20mm 時期:5月~7月 生息地:カワニナのいる小川周辺に見られる	 体長:7~12mm 時期:5月~8月 生息地:タニシなどのいる水田や湿地周辺に見られる	 体長:6~10mm 時期:6月~7月 生息地:やや湿った森の中に見られる

もう1種のヒメボタルは、県内では、筑波山[水戸昆虫研究会編 1995]と、日付不明だが1994年(平成6)に旧水府村の武生林道での記録があるのみであった[茨城県生活環境部 1985]。近年、確実な生息地として確認されてきたのは筑波山の山頂付近だけからであった。

ヒメボタルについて

ヒメボタルは、陸生ホタルの1種で、本州・四国・九州に分布する。成虫は6月~7月の頃、低地~山地に発生し、雄は、ゲンジボタルやヘイケボタルの黄緑色の発光とは異なり、黄金色に近い発光を短時間に繰り返す(1秒に約2回)。地域によって体サイズや発光パターン等が異なることから、本種には小型タイプと大型タイプの二生態型があるとされている[大場 2016]。また、雌は後翅が退化しているため飛翔できない(図1・2)。幼虫の生態については[梯 2015]に詳しい。

茨城県周辺では、千葉県[倉西 2004]・栃木県[栃木県立博物館所蔵品データベース]・福島県[大場 1975]で報告があるが、[大桃・斎藤 2007]を参照したところ、福島県では阿武隈山地においての記録はなかった。

文献に見られる常陸大宮市の植物 (1)

藤田弘道・安昌美 2009 「陰陽山（常陸大宮市）の植物」『茨城植物研究2』

(藤田弘道：自然部会専門調査員・茨城生物の会／中崎保洋：自然部会協力員・茨城生物の会)

セッコク	ヒナラン	ミヤマウズラ
トンボソウ	ベニシュスラン	ムギラン
ネジバナ	ホクリクムヨウラン	
ヒトツボクロ	マメツタラン	

まとめ

文献で確認された種類数（亜種・変種・品種も1種類とした）は次の通りである。

シダ植物	・ ・ ・ ・ ・	23 科	148 種類
種子植物	裸子植物	・ ・ ・ ・ ・	5 科 10 種類
被子植物			
双子葉植物			
離弁花類	・ ・ ・ ・ ・	71 科	517 種類
合弁花類	・ ・ ・ ・ ・	33 科	320 種類
単子葉植物	・ ・ ・ ・ ・	19 科	338 種類
合 計		151 科	1333 種類

おわりに

これまでに発表された常陸大宮市内の植物に関する一部の文献をもとに目録にまとめてみた。さらに、本市の植物に関しては、『美和村史』や『茨城県レッドデータブック』などいくつかの文献がある。それらについても今後調べてまとめてみたい。

引用・参考文献

- 茨城植物研究会 1986 「茨城県の植物ニュース（1）」『茨城植物研究1』
- 茨城植物研究会 2009 「茨城県の植物ニュース（2）」『茨城植物研究2』
- 茨城植物研究会 2010 「茨城県の植物ニュース（3）」『茨城植物研究3』
- 茨城植物研究会 2012 「茨城県の植物ニュース（4）」『茨城植物研究4』
- 茨城植物研究会 2013 「茨城県の植物ニュース（5）」『茨城植物研究5』
- 茨城植物研究会 2015 「茨城県の植物ニュース（6）」『茨城植物研究6』
- 内山治男・中崎保洋 2010 「三王山（常陸大宮市）の植物」『茨城植物研究3』
- 内山治男 2012 「茨城県の植物観察記録（3）」『茨城植物研究4』
- 内山治男 2013 「茨城県の植物観察記録（4）」『茨城植物研究5』
- 内山治男・藤田弘道 2013 「エンシュウムヨウラン（ラン科）を茨城県に記録する」『茨城植物研究5』
- 環境庁自然保護局 1994 『自然環境保全基礎調査 植物目録修正版上下』環境庁自然保護局
- 清水修・安昌美・藤田弘道・中崎保洋・和田尚幸 1986 「久慈山地北部の植物相」『茨城植物研究1』
- 清水修・安昌美・安見珠子・藤田弘道・中崎保洋・和田尚幸・野口達也・内山治男 2009 「盛金富士（常陸大宮市）の植物」『茨城植物研究2』
- 鈴木昌友・清水修・安見珠子・安昌美・藤田弘道・中崎保洋・和田尚幸・野口達也 1981 『茨城県植物誌』茨城県植物誌刊行会
- 中崎保洋・藤田弘道 2015 「井殿山（常陸大宮市）の植物」『茨城植物研究6』
- 野口達也 2010 「茨城県産種子植物の観察（2）」『茨城植物研究3』
- 藤田弘道 2009 「茨城県産植物分布資料（1）」『茨城植物研究2』

ウキクサ科

アオウキクサ
ウキクサ

ミクリ科

ミクリ

ガマ科

ガマ
コガマ
ヒメガマ

カヤツリグサ科

アイバソウ
アオスゲ
アズマスゲ
アゼガヤツリ
アゼスゲ
アゼナルコ
アブラガヤ
アワボスゲ
イトアオスゲ
イヌホタルイ
ウシクグ
エナシヒゴクサ
オオハリイ
オタルスゲ
オニスゲ
カサスゲ
カヤツリグサ
カワラスガナ
カワラスゲ
カンスゲ
クグガヤツリ
クサスゲ
クシロヤガミスゲ
クログワイ
クロヒナスゲ
ケスゲ
ケハガクレスゲ
コイヌノハナヒゲ
ゴウソ
コカンスゲ
コゴメガヤツリ
コジュズスゲ
サナギスゲ
サンカクイ
シカクイ

シデアブラガヤ
シバスゲ
ジュズスゲ
シラコスゲ
シラスゲ
シロイトスゲ
スナジスゲ
センダイスゲ
タガネソウ
タカネマスキサ
タニガワスゲ
タヌキラン
タマガヤツリ
タマツリスゲ
チャイロググガヤツリ
チャガヤツリ
ツクバスゲ
テキリスゲ
テンツキ
ナガミノヒメカンスゲ
ナキリスゲ
ナルコスゲ
ノゲヌカスゲ
ハリイ
ハリガネスゲ
ヒカゲスゲ
ヒゴクサ
ヒデリコ
ヒナガヤツリ
ヒナスゲ
ヒメアオスゲ
ヒメガヤツリ
ヒメカンスゲ
ヒメクグ
ヒメゴウソ
ヒメシラスゲ
ヒメヒラテンツキ
ヒラボガヤツリ
ビロードスゲ
ヒンジガヤツリ
ホソバヒカゲスゲ
ホタルイ
マスクサ
マツカサスキ
マツバイ

マツバスゲ
ミツカドシカクイ
ミヤマカンスゲ
ミヤマジュズスゲ
ミヤマシラスゲ
メアオスゲ
モエギスゲ
ヤマアゼスゲ
ヤマイ
ヤワラスゲ
ユメノシマガヤツリ

ラン科

アオフタバラン
アケボノシュスラン
イチョウラン
ウチョウラン
エビネ
エンシュウムヨウラン
オオバノトンボソウ
オニノヤガラ
カキラン
カヤラン
キンセイラン
キンラン
ギンラン
クマガイソウ
クモキリソウ
サイハイラン
サギソウ
ササバギンラン
ジガバチソウ
シュスラン
シュンラン



写真8 シュンラン

イネ科

アオカモジグサ
 アキノエノコログサ
 アキメヒシバ
 アシボソ
 アズマガヤ
 アズマザサ
 アズマネザサ
 アブラススキ
 イチゴツナギ
 イヌビエ
 イヌムギ
 ウキガヤ
 ウシクサ
 ウシノシッペイ
 ウマノチャヒキ
 ウラゲスズ
 エノコログサ
 オオアブラススキ
 オオアワガエリ
 オオイチゴツナギ
 オオウシノケグサ
 オオエノコロ
 オオクサキビ
 オオスズメノテッポウ
 オオニワホコリ
 オカメザサ
 オガルカヤ
 オギ
 オニウシノケグサ
 オヒシバ
 カズノコグサ
 カゼクサ
 カニツリグサ
 カモガヤ
 カモジグサ
 カラスムギ
 キダチノネズミガヤ
 キタメヒシバ
 キツネガヤ
 ギョウギシバ
 キンエノコロ
 クサヨシ
 クマザサ
 ケスズ

ケチヂミザサ
 ケナシチガヤ
 コウボウ
 コウヤザサ
 コスズメガヤ
 コチヂミザサ
 コツブキンエノコロ
 コヌカグサ
 コバンソウ
 コブナグサ
 コメガヤ
 コメヒシバ
 ササガヤ
 ササクサ
 サヤヌカグサ
 シナダレスズメガヤ
 シバ
 シラゲガヤ
 ススキ
 スズタケ
 スズメノカタビラ
 スズメノチャヒキ
 スズメノテッポウ
 スズメノヒエ
 センダイザサ
 タイヌビエ
 タチカモジグサ
 タツノヒゲ
 タマミゾイチゴツナギ
 チカラシバ
 チゴザサ
 チョウセンガリヤス
 ツルスズメノカタビラ
 ツルヨシ
 ドジョウツナギ
 トダシバ
 トボシガラ
 ナガハグサ
 ナガボカニツリ
 ナギナタガヤ
 ナルコビエ
 ニッコウザサ
 ニワホコリ
 ヌカキビ
 ヌカボ

ヌメリグサ
 ネズミガヤ
 ネズミノオ
 ノガリヤス
 ハイヌメリ
 ハチク
 ハルガヤ
 ヒメアシボソ
 ヒメノガリヤス
 ヒロハウシノケグサ
 フクロダガヤ
 フシゲチガヤ
 フシネキンエノコロ
 ホソバスズタケ
 ホソムギ
 マコモ
 マダケ
 ミゾイチゴツナギ
 ミヤコザサ
 ムラサキエノコロ
 メガルカヤ
 メダケ
 メヒシバ
 メリケンカルカヤ
 モウソウチク
 ヤダケ
 ヤマアワ
 ヤマカモジグサ
 ヤマヌカボ
 ヤマミゾイチゴツナギ
 ヨシ

ヤシ科

シュロ

サトイモ科

ウラシマソウ
 オオマムシグサ
 カラスビシャク
 ザゼンソウ
 ショウブ
 セキショウ
 トウゴクマムシグサ
 マムシグサ
 ミミガタテンナンショウ
 ムラサキマムシグサ

フキ



写真6 フキ

- フクオウソウ
- ブタクサ
- ブタナ
- ベニバナボロギク
- ヘラバヒメジョオン
- ホウキギク
- ミヤコアザミ
- ミヤマヤブタバコ
- メナモミ
- モミジガサ
- ヤクシソウ
- ヤハズハハコ
- ヤブタバコ
- ヤブタビラコ
- ヤブレガサ
- ヤマニガナ
- ヤマハハコ
- ユウガギク
- ヨモギ
- リュウノウギク

<単子葉植物>

オモダカ科

- アギナシ
- ウリカワ
- オモダカ
- サジオモダカ
- ヘラオモダカ

トチカガミ科

- クロモ
- ミズオオバコ
- ヤナギスブタ

ヒルムシロ科

- イトモ
- エビモ

- ヒルムシロ
- ヤナギモ
- イバラモ科
- イトトリゲモ
- ホッスモ

ユリ科

- アマドコロ
- アマナ
- イワギボウシ
- ウバユリ
- エンレイソウ
- オオバギボウシ
- オオバジャノヒゲ
- カタクリ
- キツネノカミソリ
- キバナノアマナ
- コバギボウシ
- サルトリイバラ
- シオデ
- ジャノヒゲ
- ショウジョウバカマ
- タカサゴユリ
- タチシオデ
- チゴユリ
- ツクバネソウ
- ツルボ
- ナガバジャノヒゲ
- ナツズイセン
- ナルコユリ
- ニラ
- ノカンゾウ
- ノビル
- ヒガンバナ
- ヒメニラ
- ヒメヤブラン
- ホウチャクソウ
- ミヤマスカシユリ
- ミヤマナルコユリ
- ヤブカンゾウ
- ヤブラン
- ヤマガシユウ
- ヤマジノホトトギス

ヤマユリ



写真7 ヤマユリ

- ワニグチソウ
- ヤマノイモ科
- オニドコロ
- キクバドコロ
- タチドコロ
- ヤマノイモ
- ミズアオイ科
- コナギ
- アヤメ科
- アヤメ
- キショウブ
- シャガ
- ニワゼキショウ
- ノハナショウブ
- ヒオウギ
- イグサ科
- アオコウガイゼキショウ
- イ
- クサイ
- コウガイゼキショウ
- スズメノヤリ
- ヌカボシソウ
- ハナビゼキショウ
- ハリコウガイゼキショウ
- ヒロハノコウガイゼキショウ
- ヤマスズメノヒエ
- ツユクサ科
- イボクサ
- ツユクサ
- ヤブミョウガ
- ホシクサ科
- イトイヌノヒゲ
- ヒロハイヌノヒゲ
- ホシクサ

ニシキウツギ
 ニワトコ
 ハヤザキヒョウタンボク
 ベニバナツクバネウツギ
 ミヤマウグイスカグラ
 ミヤマガマズミ
 ヤブデマリ
 ヤマウグイスカグラ
レンブクソウ科
 レンブクソウ
オミナエシ科
 オトコエシ
 オミナエシ
 ツルカノコソウ
マツムシソウ科
 ナベナ
キキョウ科
 アゼムシロ
 キキョウ
 シデシャジン
 ソバナ
 タニギキョウ
 ツリガネニンジン
 ツルニンジン
 ホタルブクロ
 ロベリアソウ
キク科
 アカミタンポポ
 アキノキリンソウ
 アキノノゲシ
 アキノハハコグサ
 アズマギク
 アズマヤマアザミ
 アメリカオニアザミ
 アメリカセンダングサ
 アメリカタカサブロウ
 アラゲハンゴンソウ
 イナカギク
 イヌヨモギ
 イワニガナ
 イワヨモギ
 ウスギタンポポ
 エゾタンポポ
 オオアレチノギク
 オオアワダチソウ

オオオナモミ
 オオキンケイギク
 オオジシバリ
 オオニガナ
 オオブタクサ
 オカオグルマ
 オキナグサ
 オクモミジハグマ
 オグルマ
 オケラ
 オトコヨモギ
 オニタビラコ
 オニノゲシ
 オヤマボクチ
 オヤリハグマ
 カコマハグマ
 カシワバハグマ
 カセンソウ
 カミツレモドキ
 カワラニガナ
 カワラハハコ
 カワラヨモギ
 ガンクビソウ
 カントウタンポポ
 カントウヨメナ
 キクアザミ
 キクイモ
 キクタニギク
 キッコウハグマ
 キツネアザミ
 ケナシヒメムカシヨモギ
 ケムラサキニガナ
 コウゾリナ
 コウヤボウキ
 コオニタビラコ
 コシロノセンダングサ
 コセンダングサ
 ゴマナ
 コメナモミ
 コヤブタバコ
 サジガンクビソウ
 サワヒヨドリ
 シュウブンソウ
 シラヤマギク
 シロバナタンポポ

シロバナニガナ
 シロヨメナ
 セイタカアワダチソウ
 セイヨウタンポポ
 セイヨウノコギリソウ
 センダイトウヒレン
 センダングサ
 センボンヤリ
 タイアザミ
 タウコギ
 タカサゴソウ
 タカサブロウ
 タマブキ
 ダンドボロギク
 チチコグサ
 チチコグサモドキ
 トキンソウ
 ナガバノコウヤボウキ
 ニガナ
 ノアザミ



写真5 ノアザミ

ノゲシ
 ノコンギク
 ノッポロガンクビソウ
 ノニガナ
 ノハラアザミ
 ノブキ
 ノボロギク
 ハキダメギク
 ハハコグサ
 ハバヤマボクチ
 ハルジオン
 ヒメシオン
 ヒメジョオン
 ヒメムカシヨモギ
 ヒヨドリバナ
 ヒレアザミ

ハシカグサ	ジャコウソウ	ウリクサ
ヒメヨツバムグラ	ジュウニヒトエ	オオイヌノフグリ
フタバムグラ	シラゲヒメジソ	オオヒナノウスツボ
ヘクソカズラ	シロバナキランソウ	キクモ
ホソバノヨツバムグラ	タカクマヒキオコシ	クチナシグサ
ヤエムグラ	ツクバキンモンソウ	クワガタソウ
ヤマムグラ	ツルニガクサ	コシオガマ
ヨツバムグラ	テンニンソウ	サワトウガラシ
ヒルガオ科	トウゴクシソバタツナミ	シソクサ
アメリカネナシカズラ	トウバナ	スズメノトウガラシ
コヒルガオ	ナギナタコウジュ	タケトアゼナ
ネナシカズラ	ニガクサ	タチイヌノフグリ
ハマヒルガオ	ハッカ	トキワハゼ
ヒルガオ	ヒイラギソウ	ヒキヨモギ
マルバアサガオ	ヒメオドリコソウ	ママコナ
マルバルコウ	ヒメジソ	ミゾホオズキ
ムラサキ科	ヒメシロネ	ミヤマママコナ
キュウリグサ	フトボナギナタコウジュ	ムシクサ
サワリソウ	ホトケノザ	ムラサキサギゴケ
ハナイバナ	ミヤマナミキ	ヤマサギゴケ
ホタルカズラ	ヤマタツナミソウ	キツネノマゴ科
クマツヅラ科	ヤマハッカ	キツネノマゴ
カリガネソウ	ラショウモンカズラ	ハグロソウ
クサギ	レモンエゴマ	イワタバコ科
コムラサキ	ナス科	イワタバコ
ムラサキシキブ	アメリカイヌホオズキ	ハマウツボ科
ヤブムラサキ	イガホオズキ	ナンバンギセル
シソ科	イヌホオズキ	ヤセウツボ
アキノタムラソウ	クコ	ハエドクソウ科
イヌコウジュ	シロバナチョウセンアサガオ	ナガバハエドクソウ
イヌゴマ	センナリホオズキ	ハエドクソウ
イヌトウバナ	テリミノイヌホオズキ	オオバコ科
イブキジャコウソウ	ハダカホオズキ	オオバコ
ウツボグサ	ヒヨドリジョウゴ	ツボミオオバコ
オカタツナミソウ	マルバノホロシ	ヘラオオバコ
オドリコソウ	ヤマホロシ	スイカズラ科
オランダハッカ	ワルナスビ	ウグイスカグラ
カキドオシ	フジウツギ科	オオツクバネウツギ
カワミドリ	フジウツギ	オトコヨウゾメ
キセワタ	ゴマノハグサ科	ガマズミ
キバナアキギリ	アゼトウガラシ	コウグイスカグラ
キランソウ	アゼナ	コバノガマズミ
クルマバナ	アブノメ	スイカズラ
コシロネ	アメリカアゼナ	ソクズ
シソ	イヌノフグリ	ツクバネウツギ

ヒシ科

ヒシ

アカバナ科

アカバナ
アレチマツヨイグサ
ウスゲチョウジタデ
オオマツヨイグサ
コマツヨイグサ
タニタデ
チョウジタデ
ノダアカバナ
ミズタマソウ
メマツヨイグサ
ユウゲショウ

アリノトウグサ科

アリノトウグサ
ホザキノフサモ

ウリノキ科

ウリノキ

ミズキ科

アオキ
クマノミズキ
ハナイカダ
ミズキ
ヤマボウシ

ウコギ科

ウド
カクレミノ
キヅタ
コシアブラ
タカノツメ
タラノキ
トチバニンジン
ハリギリ
メダラ
ヤツデ
ヤマウコギ

セリ科

イブキボウフウ
ウマノミツバ
オオチドメ
オオバチドメ
オヤブジラミ
カノツメソウ
シヤク

シラネセンキュウ

セリ

セントウソウ

タニミツバ

チドメグサ

ヌマゼリ

ノダケ

ノチドメ

ハナウド

ヒメチドメ

ホタルサイコ

ミツバ

ムカゴニンジン

ヤブジラミ

ヤブニンジン

ヤマゼリ

<合弁花類>

イワウメ科

イワウチワ

リョウブ科

リョウブ

イチヤクソウ科

アキノギンリョウソウ
イチヤクソウ
ウメガサソウ
ギンリョウソウ
シヤクジョウソウ

ツツジ科

アセビ
アブラツツジ
ウスノキ
シロヤシオ
トウゴクミツバツツジ
ナツハゼ
ネジキ
バイカツツジ
ヒカゲツツジ
ヤマツツジ
レンゲツツジ

ヤブコウジ科

カラタチバナ
マンリョウ
ヤブコウジ

サクラソウ科

イヌヌマトラノオ
オカトラノオ
コナスビ
ヌマトラノオ
ミヤマタゴボウ

カキノキ科

カキノキ

エゴノキ科

エゴノキ
オオバアサガラ
ハクウンボク

ハイノキ科

サワフタギ

モクセイ科

イボタノキ
ケアオダモ
トウネズミモチ
ネズミモチ
ヒイラギ
マルバアオダモ

マチン科

アイナエ

リンドウ科

アケボノソウ
ユケリンドウ
センブリ
ツルリンドウ
フデリンドウ
リンドウ

キョウチクトウ科

テイカカズラ

ガガイモ科

オオカモメヅル
ガガイモ
コイケマ
コバノカモメヅル
タチガシワ

アカネ科

アカネ
オオバノヤエムグラ
オオフタバムグラ
キヌタソウ
クルマムグラ
ツルアリドオシ

フウロソウ科

アメリカフウロ
 ゲンノショウコ
 コフウロ
 タチフウロ
 フシゲタチフウロ

トウダイグサ科

アカメガシワ
 エノキグサ
 オオニシキソウ
 コニシキソウ
 シラキ
 タカトウダイ
 トウダイグサ
 ニシキソウ
 ヒメミカンソウ
 ビロードエノキグサ

ミカン科

アサクラザンショウ
 イヌザンショウ
 ウチダシミヤマシキミ
 カラスザンショウ
 キハダ
 コクサギ
 サンショウ
 フユザンショウ
 マツカゼソウ
 ミヤマシキミ

ニガキ科

ニガキ

ヒメハギ科

ヒメハギ

ドクウツギ科

ドクウツギ

ウルシ科

ウルシ
 ツタウルシ
 スルデ
 ヤマウルシ

カエデ科

イロハモミジ
 ウラゲエンコウカエデ
 ウリカエデ
 ウリハダカエデ
 エンコウカエデ

オオモミジ
 オニイタヤ
 コハウチワカエデ
 チドリノキ
 ヒトツバカエデ

ミツデカエデ
 メグスリノキ

アワブキ科

アワブキ
 ミヤマハハソ

ツリフネソウ科

キツリフネ
 ツリフネソウ

モチノキ科

アオハダ
 イヌツゲ
 ウメモドキ

モチノキ

ニシキギ科

イヌツルウメモドキ
 オオツルウメモドキ
 オニツルウメモドキ
 コマユミ
 ツリバナ
 ツルウメモドキ
 ツルマサキ
 ニシキギ
 マユミ

ミツバウツギ科

ゴンズイ
 ミツバウツギ

クロウメモドキ科

クマヤナギ
 クロウメモドキ
 ケンポナシ

ブドウ科

エビヅル
 サンカクヅル
 ツタ
 ノブドウ

ヤブガラシ

シナノキ科

カラスノゴマ

ジンチョウゲ科

コガンピ

ミツマタ

グミ科

アキグミ
 ツルグミ
 ナツグミ

イイギリ科

イイギリ

スミレ科

アオイスミレ
 アカネスミレ
 アギスミレ
 アケボノスミレ
 エイザンスミレ
 オカスミレ
 ケタチツボスミレ
 コスミレ
 コミヤマスミレ
 シロバナタチツボスミレ
 スミレ
 タチツボスミレ
 ツボスミレ
 ナガハシスミレ
 ニオイタチツボスミレ
 ノジスミレ
 ヒカゲスミレ
 ヒナスミレ
 ヒメスミレ
 フモトスミレ
 マキノスミレ
 マルバスミレ

キブシ科

キブシ

ミゾハコベ科

ミゾハコベ

ウリ科

アマチャヅル
 アレチウリ
 カラスウリ
 キカラスウリ
 スズメウリ

ミソハギ科

キカシグサ
 ヒメミソハギ
 ミズマツバ
 ミソハギ

クサアジサイ
 ケバイカウツギ
 コアジサイ
 コチャルメルソウ
 ダイモンジソウ
 タコノアシ
 タマアジサイ
 チダケサシ
 ツルネコノメソウ
 トリアシショウマ
 ニッコウネコノメ
 ネコノメソウ
 ノリウツギ
 ハナネコノメ
 ヒメウツギ
 ビロードウツギ
 ムカゴネコノメソウ
 ヤマアジサイ
 ヤマネコノメソウ
 ユキノシタ

バラ科

アイズシモツケ
 アズキナシ
 イヌザクラ
 ウラジロノキ
 ウワミズザクラ
 エドヒガン
 エビガライチゴ
 オオズミ
 オヘビイチゴ
 カスミザクラ
 カワラサイコ
 キジムシロ
 キンミズヒキ
 クサイチゴ
 クサボケ
 クマイチゴ
 ケカマツカ
 コゴメウツギ
 シモツケ
 ズミ
 ダイコンソウ
 タチゲヒメヘビイチゴ
 チョウジザクラ
 ツルキンバイ

テリハノイバラ
 ナワシロイチゴ
 ニガイチゴ
 ノイバラ
 ヒメキンミズヒキ
 フユイチゴ
 ヘビイチゴ
 ミツバツチグリ
 ミツモトソウ
 ミヤマフユイチゴ
 モミジイチゴ
 モリイバラ
 ヤブヘビイチゴ
 ヤマザクラ
 ヤマナシ
 ヤマブキ
 ユキヤナギ
 ワレモコウ

マメ科

アカツメクサ
 アメリカツノクサネム
 アレチヌスビトハギ
 イタチハギ
 イヌエンジュ
 イヌハギ
 ウスバヤブマメ
 オオバクサフジ
 オオバタンキリマメ
 カスマグサ
 カワラケツメイ
 キダチコマツナギ
 キハギ
 クサネム
 クズ
 クスダマツメクサ
 クララ
 ケヤブハギ
 ゲンゲ
 コマツナギ
 サイカチ
 ジャケツイバラ
 シロツメクサ
 スズメノエンドウ
 タチオランダゲンゲ
 タチゲキハギ

タヌキマメ
 ツクシハギ
 ツルフジバカマ
 ツルマメ
 ヌスビトハギ
 ネコハギ
 ネムノキ
 ノアズキ
 ノササゲ
 ハイメドハギ
 ハリエンジュ
 フジ



写真4 フジ

フジカンゾウ
 フジキ
 ホドイモ
 マキエハギ
 マルバナヌスビトハギ
 マルバハギ
 マルバヤハズソウ
 ミヤコグサ
 ミヤマタニワタシ
 メドハギ
 ヤハズエンドウ
 ヤハズソウ
 ヤブツルアズキ
 ヤブハギ
 ヤブマメ
 ヤマハギ
 ヨツバハギ
 レンリソウ

カタバミ科

イモカタバミ
 エゾタチカタバミ
 オッタチカタバミ
 カタバミ
 ミヤマカタバミ

モクレン科

コブシ

ホオノキ

マツブサ科

サネカズラ

マツブサ

シキミ科

シキミ

クスノキ科

アブラチャン

クロモジ

シロダモ

ダンコウバイ

ヤマコウバシ

フサザクラ科

フサザクラ

キンポウゲ科

アキカラマツ

アズマイチゲ

イチリンソウ

イヌショウマ

ウマノアシガタ

オオバショウマ

オトコゼリ

キクザキイチゲ

キツネノボタン

クサボタン

ケキツネノボタン

コボタンヅル

サラシナショウマ

シュウメイギク

スハマソウ

センニンソウ

ツクバトリカブト

トウゴクサバノオ

ニリンソウ

ハンショウヅル

フクジュソウ

ボタンヅル

ヤマキツネノボタン

レンゲショウマ

メギ科

イカリソウ

ナンテン

メギ

ルイヨウボタン

アケビ科

アケビ

ミツバアケビ

ムベ

ツツラフジ科

アオツツラフジ

コウモリカズラ

ツツラフジ

マツモ科

マツモ

ドクダミ科

ドクダミ

センリョウ科

ヒトリシズカ

フタリシズカ

ウマノスズクサ科

ウスバサイシン

ウマノスズクサ

フタバアオイ

ボタン科

ヤマシヤクヤク

マタタビ科

サルナシ

マタタビ

ツバキ科

サカキ

チャノキ

ナツツバキ

ヒサカキ

ヤブツバキ

オトギリソウ科

オトギリソウ

コケオトギリ

トモエソウ

ケシ科

クサノオウ

ジロボウエンゴサク

タケニグサ

ナガミノツルキケマン

ホソバヤマブキソウ

ミヤマキケマン

ムラサキケマン

ヤマエンゴサク

ヤマブキソウ

アブラナ科

イヌガラシ

イヌナズナ

オオバタネツケバナ

オランダガラシ

カラシナ

キレハイヌガラシ

グンバイナズナ

コンロンソウ

ショカツサイ

スカシタゴボウ

セイヨウアブラナ



写真3 セイヨウアブラナの群落

タチタネツケバナ

タネツケバナ

ナズナ

ハクサンハタザオ

ハルザキヤマガラシ

ホソミナズナ

マメグンバイナズナ

マルバコンロンソウ

ミチバタガラシ

ヤマハタザオ

ユリワサビ

ワサビ

マンサク科

オオバマンサク

ベンケイソウ科

アオノイワレンゲ

キリンソウ

コモチマンネングサ

マルバマンネングサ

ミツバベンケイソウ

ユキノシタ科

アカショウマ

イワガラミ

ウツギ

- | | | |
|--------------|---------------|---------------|
| カワヤナギ | クサコアカソ | ミチヤナギ |
| タチヤナギ | コアカソ | ミヤマタニソバ |
| バッコヤナギ | コケミズ | ヤナギタデ |
| ヤマナラシ | トキホコリ | ヤノネグサ |
| カバノキ科 | ナガバヤブマオ | ヤマミゾソバ |
| アカシデ | ミズ | ヤマゴボウ科 |
| イヌシデ | ミヤマイラクサ | ヨウシュヤマゴボウ |
| オノオレカンバ | ムカゴイラクサ | ザクロソウ科 |
| クマシデ | メヤブマオ | クルマバザクロソウ |
| ケヤマハンノキ | ヤブマオ | ザクロソウ |
| サワシバ | ヤマトキホコリ | スベリヒユ科 |
| ツノハシバミ | ヤマミズ | スベリヒユ |
| ハンノキ | ビャクダン科 | ナデシコ科 |
| ミヤマヤシャブシ | カナビキソウ | ウシハコベ |
| ブナ科 | ツクバネ | オオヤマハコベ |
| アカガシ | タデ科 | オランダミミナグサ |
| アラカシ | アキノウナギツカミ | カワラナデシコ |
| イヌブナ | イシミカワ | ケフシグロ |
| ウラジログアシ | イタドリ | コハコベ |
| クヌギ | イヌタデ | サワハコベ |
| クリ | エゾノギシギシ | ツメクサ |
| コナラ | オオイタドリ | ナンバンハコベ |
| シラカシ | オオイヌタデ | ネバリノミノツヅリ |
| スタジイ | オオケタデ | ノハラナデシコ |
| ツクバネガシ | オオネバリタデ | ノミノツヅリ |
| ブナ | オオハルタデ | ノミノフスマ |
| ミズナラ | オオミゾソバ | フシグロ |
| ニレ科 | ギシギシ | フシグロセンノウ |
| エゾエノキ | ギンミズヒキ | ミドリハコベ |
| エノキ | ケイタドリ | ミミナグサ |
| ケヤキ | サクラタデ | ミヤマハコベ |
| ハルニレ | シンミズヒキ | ムシトリナデシコ |
| クワ科 | スイバ | ワダソウ |
| イタビカズラ | タニソバ | アカザ科 |
| カナムグラ | ツルドクダミ | イワアカザ |
| カラハナソウ | ナガボハナタデ | ケアリタソウ |
| クワクサ | ネバリタデ | シロザ |
| ヒメコウゾ | ハナタデ | ヒユ科 |
| ヤマグワ | ハルタデ | イヌビユ |
| イラクサ科 | ハルトラノオ | ヒカゲイノコズチ |
| アオカラムシ | ヒメスイバ | ヒナタイノコズチ |
| アオミズ | ボントクタデ | ホソアオゲイトウ |
| ウワバミソウ | ママコノシリヌグイ | ホナガアオゲイトウ |
| カテンソウ | ミズヒキ | ヤナギイノコズチ |
| カラムシ | ミゾソバ | |

イワイタチシダ
イワシロイノデ
イワヘゴ
オオイタチシダ
オオクジャクシダ
オオベニシダ
オクマワラビ
オシダ
オニカナワラビ
キヨスミヒメワラビ
クマワラビ
サイゴクベニシダ
サカゲイノデ
サクライカグマ
ジュウモンジシダ
タニヘゴ
ツヤナシイノデ
ツルデンダ
テリハヤブソテツ
トウゴクシダ
ドウリョウイノデ
ナガバヤブソテツ
ナンゴクナライシダ
ハカタシダ
ハチジョウベニシダ
フジオシダ
フナコシイノデ
ベニシダ
ホソバナライシダ
マルバベニシダ
ミサキカグマ
ミヤマイタチシダ
ミヤマクマワラビ
ミヤマベニシダ
メヤブソテツ



写真2 メヤブソテツ

ヤマイタチシダ
ヤマヤブソテツ
リョウメンシダ
ヒメシダ科
アオハリガネワラビ
イワハリガネワラビ
ゲジゲジシダ
ハシゴシダ
ハリガネワラビ
ヒメシダ
ヒメワラビ
ホシダ
ミゾシダ
ミドリヒメワラビ
ヤワラシダ
イワデンダ科
イッポンワラビ
イヌガンソク
イヌワラビ
イワデンダ
ウスヒメワラビ
オオヒメワラビ
オオホソバシケシダ
オニヒカゲワラビ
キヨタキシダ
クサソテツ
コウヤワラビ
サトメシダ
シケシダ
シケチシダ
セイタカシケシダ
タカオシケチシダ
ヌリワラビ
ハクモウイノデ
ハコネシケチシダ
ヒロハイヌワラビ
フクロシダ
フモトシケシダ
へびノネゴザ
ホソバイヌワラビ
ホソバシケシダ
ミドリワラビ
ミヤマシケシダ
ミヤマシダ
ヤマイヌワラビ

ウラボシ科
イワオモダカ
ノキシノブ
ヒメサジラン
ヒメノキシノブ
マメヅタ
ミツデウラボシ
サンショウモ科
サンショウモ
チャセンシダ科
イワトラノオ
オクタマシダ
クモノスシダ
コタニワタリ
コバノヒノキシダ
トラノオシダ
ヌリトラノオ

<種子植物>

<裸子植物>

マツ科

アカマツ

ツガ

ヒメコマツ

モミ

スギ科

スギ

ヒノキ科

サワラ

ネズミサシ

ヒノキ

イヌガヤ科

イヌガヤ

イチイ科

カヤ

<被子植物>

<双子葉植物>

<離弁花類>

クルミ科

オニグルミ

ヤナギ科

イヌコリヤナギ

オオキツネヤナギ

オノエヤナギ

<資料紹介>

文献に見られる常陸大宮市の植物 (1)

藤田 弘道・中崎 保洋

はじめに

常陸大宮市内の植物を調査し記録していく上で、まず、これまでに記録されている植物を明らかにしていくことが必要である。そこで、筆者らはいくつかの文献を調べ、記載されている植物を目録にまとめてみた。その際、一部の種について、分類上の取り扱いの変更や明らかな同定の誤りなどの修正や削除を行っている。

なお、目録での科の配列は環境庁自然保護局(1994)に従った。種名は和名のみとし、配列は五十音順とした。

植物目録

<シダ植物>

ヒカゲノカズラ科

トウゲシバ

ヒカゲノカズラ

イワヒバ科

イワヒバ

エゾノヒメクラマゴケ

カタヒバ

クラマゴケ

ミズニラ科

ミズニラ

トクサ科

イヌスギナ

イヌドクサ

スギナ

トクサ

ハナヤスリ科

アカハナワラビ

オオハナワラビ

ナガホノナツノハナワラビ

ナツノハナワラビ

ヒロハハナヤスリ

フユノハナワラビ

ゼンマイ科

ゼンマイ

キジノオシダ科

オオキジノオ

ウラジロ科

ウラジロ

コシダ

フサシダ科

カニクサ

コケシノブ科

ウチワゴケ

コウヤコケシノブ

ハイホラゴケ

コバノイシカグマ科

イヌシダ

イワヒメワラビ

オウレンシダ

コバノイシカグマ

フモトシダ

ワラビ

ホングウシダ科

ホラシノブ

シノブ科

シノブ

ホウライシダ科

イヌイワガネソウ

イワガネゼンマイ

イワガネソウ

ウラゲイワガネ

クジャクシダ

タチシノブ

チチブイワガネ

ハコネシダ

ミズワラビ

シシラン科

シシラン

イノモトソウ科

イノモトソウ

オオバノアマクサシダ

オオバノイノモトソウ

オオバノハチジョウシダ

コユルギイノモトソウ

シシガシラ科

オサシダ

シシガシラ



写真1 シシガシラ

オシダ科

アイアスカイノデ

アイノコクマワラビ

アスカイノデ

イヌイワイタチシダ

イノデ

イノデモドキ